

資源生物科学科

講義科目

実験・実習・演習科目

学科教育目標

学部DP

資料3-①



※1 専門分野によって習得が推奨される他学科科目など（主に2～3年次配当）。 ※2 開講予定の科目を含む。今後の案内に注意すること。

※3 これらに加えて、大学コンソーシアム京都への提供科目として、**グリーンエネルギー・ファーム論と実習**、**農業と農学の最前線**、**食卓の栽培学と実習**、の3科目を開講（1～4年次配当）。

応用生命科学科

講義

実験・演習

DP1:生命・食料・環境に関する世界水準の自然科学・社会科学研究の理解

DP2:生命・食料・環境に関して人類が直面する課題への科学的な解決法の構想

DP3:生命・食料・環境に関連する産業への理解と、倫理観をもった社会人基礎力・行動力

DP4:生命・食料・環境に関連する課題へ取り組み幅広い視野とコミュニケーション能力

目標 1: さまざまな自然科学の現象を化学の言葉で理解できる。

目標 2: 深い洞察力に基づいた論理的思考ができる。

目標 3: 独自の視点で課題を設定できる。

目標 4: 高い倫理性を持って、基礎研究と応用研究の発展に貢献できる。

目標 5: さまざまな文化圏の人々と円滑にコミュニケーションができる。

課題研究 (履修を原則とする)

応用生命科学演習 I, II
※1(うち2単位以上)

専門科目

分子細胞生物学 I, II

生物化学 II

分子生物学 I, II

一般生体高分子化学

分析化学

生体高分子構造論

微生物分子遺伝学

植物栄養学

生物有機化学 I, II, III

植物生化学 I, II

発酵生理学

専門・実習系科目

生物化学実験

分子生物学実験

植物生化学実験

分析化学実験

生化学実験

有機化学実験

応用微生物学実験

専門実践系科目

醸造食品学概論

産業微生物学

専門外国語講読

専門基礎科目

生物化学 I

有機反応機構論 I, II

有機構造解析学

生化学 I, II

微生物学概論

細胞生物学概論

応用生命科学概論

自然科学科目群 (20単位以上)
(うち下記推薦科目10単位以上)

物理学基礎論 A, B

基礎化学実験

微分積分学 A, B 線形代数 A, B

確率論基礎

無機化学入門 A, B

生物・生命科学入門

統計入門

人文・社会科学
科目群
(16単位上)

統合科学科目群
の「統合科学」
分野 (2単位ま
で) を含められ
る

情報科学科目群、
健康・スポーツ
科目群、
キャリア形成
科目群、統合
科学科目群、
少人数教育科
目群 (8 単位
以上)

外国語科目群
(16単位上)

英語

初修外国語

E 科目4単位以上

専門科目 84単位以上

※2 <令和5年度以降入学者> 1 回生配当科目より6 単位以上、
2 ~ 4 回生配当科目 (課題研究を除く) より6 2 単位以上

全学共通科目 60単位以上

4 年次

応用

3 年次

発展

2 年次

基礎

1 年次

導入

※1 令和3年度以降の入学者は応用生命科学演習 I ~ II より2 単位以上修得すること。応用生命科学演習 I ~ II は2 ~ 4 回生配当科目 (課題研究を除く) の必要単位数に含む。

※2 令和4年度以前入学者 2 ~ 4 回生配当科目 (課題研究を除く) から56 単位以上

農学部の学位授与方針(DP)

生命・食料・環境に関する世界水準の自然科学・社会科学研究の理解力

生命・食料・環境に関して人類が直面する課題を科学的に解決する構想力

生命・食料・環境に関連する産業への理解と、倫理観をもった社会人基礎力・行動力

生命・食料・環境に関連する課題へ取り組む幅広い視野とコミュニケーション能力

自然科学・情報技術の基礎学力の修得

“水土緑の工学”の全容理解

“水土緑の工学”の知識と応用能力の修得

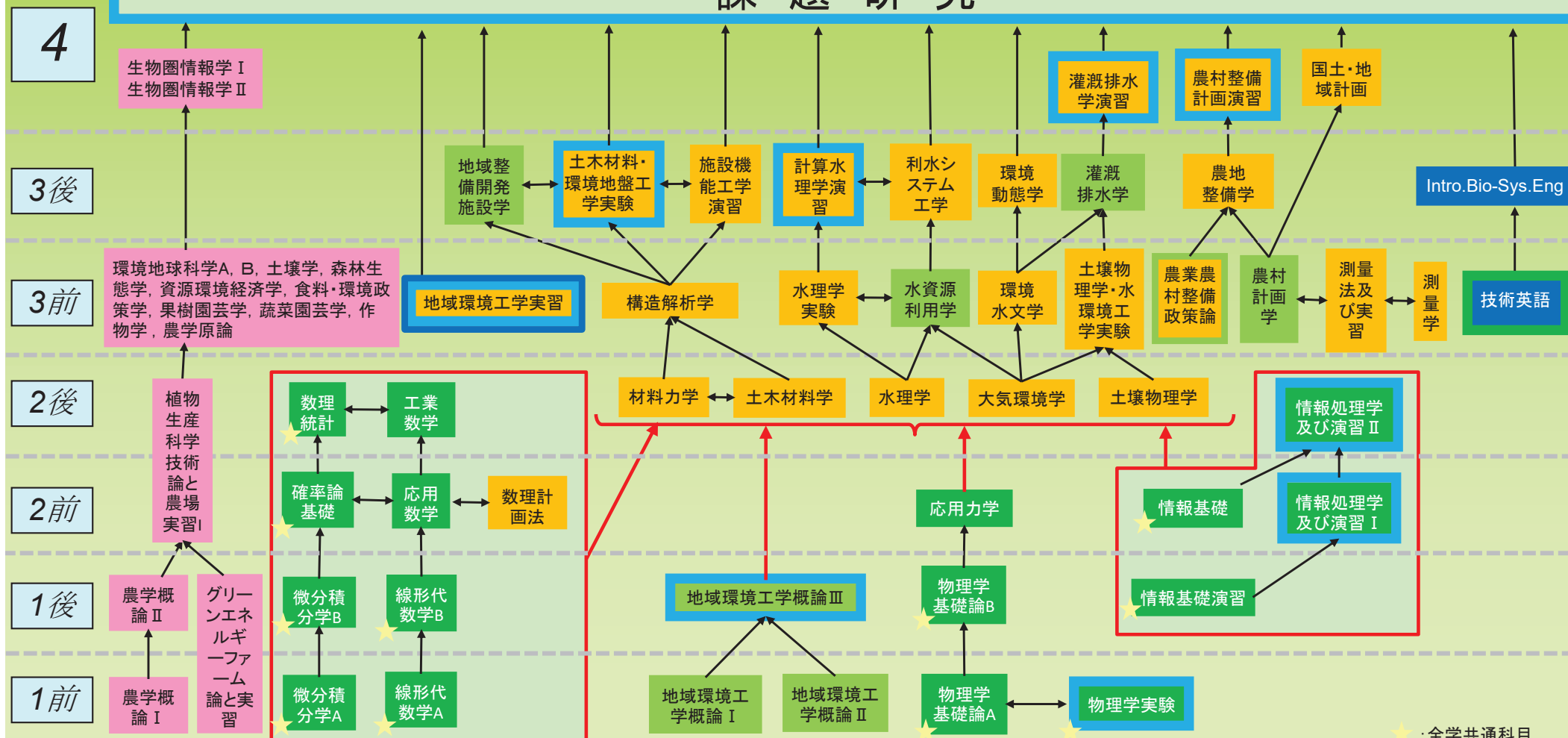
農学の知識と応用能力の修得

コミュニケーション能力・プレゼン能力の修得

高い問題解決能力と課題設定能力の修得

地域環境工学科の学習・教育目標(水・土・緑系)

課題研究



農学部の学位授与方針(DP)

生命・食料・環境に関する世界水準の自然科学・社会科学研究の理解力

生命・食料・環境に関して人類が直面する課題を科学的に解決する構想力

生命・食料・環境に関連する産業への理解と、倫理観をもった社会人基礎力・行動力

生命・食料・環境に関連する課題へ取り組む幅広い視野とコミュニケーション能力

自然科学・情報技術の基礎学力の修得

創造力・デザイン能力の修得

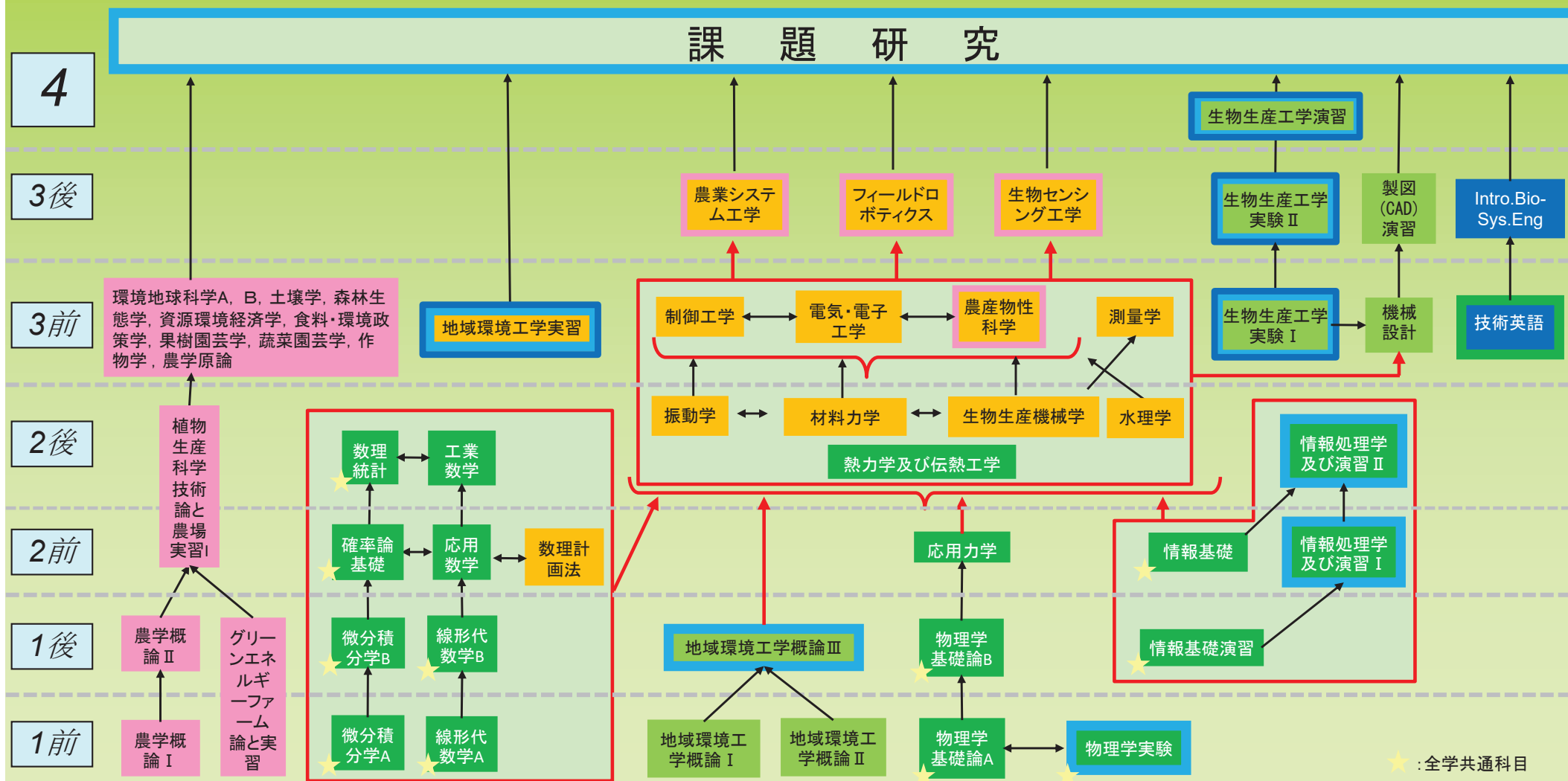
工学の知識と応用能力の修得

農学の知識と応用能力の修得

コミュニケーション能力・プレゼン能力の修得

高い問題解決能力と課題設定能力の修得

地域環境工学科の学習・教育目標(食料・エネルギー系)



食料・環境経済学科

講義

実習・演習

DP1:

学科が設定した農学と関連領域の学識を身につけ、生命・食料・環境に関わる世界水準の自然科学・社会科学研究が理解できる。

DP2:

生命・食料・環境に関して人類が直面する課題に対して、科学的な解決方法を構想できる。

DP3:

農林水産業および関連産業の意義と重要性を理解し、高い倫理性を持って、その発展に寄与することをめざした行動ができる。

DP4:

広範囲に及ぶ生命・食料・環境に関わる幅広い視野を身につけ、異なる文化の人々とも円滑にコミュニケーションができる能力を持つ。

【4年次】卒業研究・卒業論文など

農業食料組織
経営学演習
Ⅱ・Ⅲ

農業経営情報
会計学演習
Ⅱ・Ⅲ

資源環境経
済学演習
Ⅱ・Ⅲ

食料・環境政
策学演習
Ⅱ・Ⅲ

森林経済政
策学演習
Ⅱ・Ⅲ

国際農村発
展論演習
Ⅱ・Ⅲ

農業・農村
史演習
Ⅱ・Ⅲ

農学原論
演習
Ⅱ・Ⅲ

農業食料組織
経営学演習Ⅰ

農業経営情報
会計学演習Ⅰ

資源環境経
済学演習Ⅰ

食料・環境政
策学演習Ⅰ

森林経済政
策学演習Ⅰ

国際農村発
展論演習Ⅰ

農業・農村
史演習Ⅰ

農学原論
演習Ⅰ

農業資金
会計論

資源環境
分析学

食料経済論

森林経済学

農村社会学

農業食料
組織経営学

農業経営
情報会計学

資源環境
経済学

食料・環境
政策学

森林政策学

国際農村発
展論

農業・
農村史

農学原論

農林経営経済
調査実習

食料・農業
経済情報論

応用ミクロ
経済学方法論

専門外国書
講義

食農倫理論

アグロフード
システム論

協同
組合論

農業会计学
基礎実習

農林
統計学

統計デー
タ分析

経済原論
Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

調査研究
方法実習

農業発展論

社会経済史

経済思想史

経営学基礎

食料・環境経済学
概論

応用ミクロ
経済学入門

食料・環境経済
基礎論

社会経済学入門

農学概論

全学共通科目

統合科学：地球環境
と人類とのバランス

Introduction to
Management

情報基礎
演習

数学基礎・
確率論基礎

統計
入門

ILAS
Seminar

Food and
Globalization

社会学

その他
推薦科目

4年次

応用

3年次

発展

2年次

基礎

1年次

導入

森林科学科

講義

実習・実験・演習

農学部ディプロマポリシー

各学科が設定した農学とそれに関連した領域の学識を身につけ、「生命・食料・環境」に関わる世界水準の自然科学・社会科学研究の内容が理解できる

「生命・食料・環境」に関して人類が直面する課題に対して、統合的・総合的な考えをもって、科学的な解決方法を構想できる

農林水産業および食品・生命科学関連産業の意義と重要性を理解し、高い倫理性を持って、その発展に寄与することをめざした行動ができる

広範囲に及ぶ「生命・食料・環境」に関わる課題に取り組むための幅広い視野を身につけ、異なる文化の人々とも円滑にコミュニケーションができる能力を持つ

森林科学科
学習教育目標

森林科学全般の基盤知識を有し、高い倫理性を持った社会人としての行動力を獲得する

森林生態系と環境サービスに精通し、研究や産業に携わる基礎能力を獲得する

森林管理や制度に精通し、研究や産業に携わる基礎能力を獲得する

バイオマテリアルに精通し、研究や産業に携わる基礎能力を獲得する

幅広い視野を身につけ、異なる文化や思想の人々とも協働できる能力を獲得する

分属した分野における課題研究遂行による研究能力習得（選択必修）

森林生物学

熱帯林環境学

森林利用学

森林生態学

森林水文学

森林人間関係学

環境デザイン学

山地保全学

生物圏情報学

樹木細胞学

森林生化学

林産加工学

生物材料設計学

生物繊維学

複合材料化学

生物材料化学

エネルギーエコシステム学

フィールド系領域（森林生態と環境サービス・森林管理）

バイオマテリアル系領域

領域をまたいだ基盤知識習得（3回生前期）と領域別の拡充（3回生後期＋4回生前期）

森林生態系と環境サービスについての専門知識習得

G

森林管理と制度についての専門知識習得

H

バイオマテリアルについての専門知識習得

I

分属する研究室（分野）の決定 3回生後期

専門性の高いフィールドワークの習得

J

専門性の高いラボワークの習得

K

研究林実習 II～IV

J

フィールド調査とラボラトリーワークの習得（選択必修）

F

領域をまたいだ技術の習得

海外留学やインターン研修

「ASセミナー・特別実地研修」などの体験型科目

D

4回生

3回生

2回生

1回生

隣接分野の知識習得

他学科科目

森林科学全般の基礎知識習得
森林基礎科学C～F（選択必修）
（H29以降:16単位以上, H28以前:10単位以上）

C

農学・森林科学全般の基礎知識習得
森林基礎科学A～B（選択必修）
農学概論 I, II 森林科学概論A, B
（6単位以上）

C

全学共通科目
人文・社会科学科目群
（12単位以上）
外国語科目群（16単位以上）
自然科学科目群
（20単位以上かつ
推薦科目から10単位以上）

A

フィールド調査とラボラトリーワークの基礎習得（選択必修）

E

研究林実習 I（選択必修）

全学共通科目
情報学科科目群・統合科学科目群など
（12単位以上）

B

このコースツリーでは、科目と学習到達目標との関連性を各ボックスの色で表示しています。カラー印刷版あるいはウェブ版を利用して、学習計画、履修計画の参考にしてください。なお、入学年度により、卒業要件が異なりますので、注意して下さい。

森林科学科コースツリー用 科目名一覧表

アルファベット記号がコースツリー図内の記号と対応しています。

1 回生と2回生配当科目

A 森林科学科の推薦科目 (全学共通科目 自然科学科目群)

微分積分学(講義・演義) A	微分積分学(講義・演義) B	線形代数学(講義・演義) A
線形代数学(講義・演義) B	物理学基礎論 A	物理学基礎論 B
基礎物理化学要論	基礎有機化学 I	個体と集団の基礎生物学
物理学実験	基礎化学実験	統計入門

B 森林科学科の推薦科目 (全学共通科目 人文・社会科学科目群など)

環境学	情報基礎 [農学部]
-----	------------

C 農学・森林科学全般の基礎

農学概論 I	農学概論 II	森林科学概論 A	森林科学概論 B
森林科学のための PC 利用実習			
森林科学科の基礎科目(選択必修)			
森林基礎科学 A	森林基礎科学 B	森林基礎科学 C	
森林基礎科学 D	森林基礎科学 E	森林基礎科学 F	

専門知識の習得 (G~I 科目: 2 回生配当)

樹木植物概論	森林経営学		
森林生化学 I	生物材料物性学 I	森林高分子科学 I	森林物理化学

D 体験型科目

(全学共通科目)	ILAS セミナー
(農学部共通専門科目)	特別実地研修
(他学科科目)	グリーンエネルギーファーム論と実習

E フィールド調査とラボラトリーワークの基礎習得(選択必修)(E と F で合計 8 単位以上)

森林基礎科学実習 I	森林基礎科学実習 II	研究林実習 I (芦生)
------------	-------------	--------------

3・4 回生の配当科目

F フィールド調査とラボラトリーワークの習得(選択必修)(E と F で合計 8 単位以上)

森林フィールド系実習及び実習法	森林マテリアル系実験及び実験法
-----------------	-----------------

G 森林生態系と環境サービスについての専門知識習得

熱帯林環境学	生物多様性保全学	森林動物学	森林土木学
森林生態学	群集生態学	環境地球科学 A (地圏災害学)	
砂防学	森林育成学	環境地球科学 B (森林水文学)	
森林環境学	生態系シミュレーション	(測量学)	
(水理学)	(土壌学)	(大気環境学)	

H

森林管理と制度についての専門知識習得

森林計画学	森林法律論	造園学	緑地植物学
緑地計画論	生物圏情報学Ⅰ	生物圏情報学Ⅱ	
(森林政策学)	(森林経済学)		

I

バイオマテリアルについての専門知識習得

森林生化学Ⅱ	森林分子生物学	樹木細胞生物学	細胞壁形成論
森林高分子科学Ⅱ	バイオマス複合材料化学	生物材料構造学	
セルロース化学	リグニン化学	森林有機化学	生物材料物性学Ⅱ
住環境学	木材加工学Ⅰ	木材加工学Ⅱ	バイオマスエネルギー
木材保存学	木質材料学	木質構造学	
(材料力学)			

J

専門性の高いフィールド・ラボワークの習得

基礎生態学実験及び実験法	応用生態学実験及び実験法
森林水文・砂防学実験及び実験法	森林利用学実習及び実習法
造園学実習Ⅰ	造園学実習Ⅱ
地域林業調査実習	研究林実習Ⅱ(芦生)
研究林実習Ⅲ(夏の北海道)	研究林実習Ⅳ(冬の北海道)

K

専門性の高いラボワークの習得

木材構造学・木材工学実験及び実験法	木材加工学実験及び実験法
バイオマス化学実験及び実験法	建築設計・製図実習

L

分属した分野における課題研究遂行による研究推進能力の習得

森林専門外国書講読	森林科学演習	課題研究(選択必修)
-----------	--------	------------

不定期に開講される科目

森林科学特別科目Ⅰ～Ⅹ	特別森林実習Ⅰ～Ⅲ
-------------	-----------

食品生物科学科

DP1: 学部

生命・食料・環境に関する世界水準の自然科学・社会科学の理解力

DP2: 学部

生命・食料・環境に関して人類が直面する課題を科学的に解決する構想力

DP3: 学部

生命・食料・環境に関連する産業への理解と、高い倫理観と強い責任感をもった社会人基礎力・行動力

DP4: 学部

生命・食料・環境に関連する課題へ取り組み幅広い視野とコミュニケーション能力

目標1: 学科

化学を基軸とする実験科学に基づいて、生物・人間の食行動と生理反応を分子・細胞・個体レベルで理解

目標2: 学科

生体応答メカニズムの解明に基づいて、健康増進と疾病予防に繋がる食習慣や機能的食品、医薬品の創製

4 年次
研 究

3 年次
専 門

2 年次
基 礎

1 年次
導 入

課題研究 (履修を原則とする)

専門科目

食品化学	食品工学Ⅱ	天然物化学	植物栄養学
食品機能学	応用酵素化学	微生物生産学	食品生理学
食品分子生物学Ⅱ	微生物遺伝学	食品安全学Ⅰ	

専門・実習系科目 (選択必修 15 単位以上)

食品有機化学実験	食品生化学実験
食品生物工学実験	栄養生理学実験
応用微生物学実験	分子生物学実験

専門基礎科目

食品物理化学Ⅱ	食品工学Ⅰ	食品有機化学Ⅱ,Ⅲ	食品分析化学
酵素化学	食品基礎分子生物学Ⅰ,Ⅱ	微生物学概論	食品分子生物学Ⅰ
栄養化学			

専門基礎科目

食品物理化学Ⅰ	食品有機化学Ⅰ	基礎生化学Ⅰ,Ⅱ	食品生物科学概論	農学概論Ⅰ,Ⅱ
---------	---------	----------	----------	---------

専門実践系科目

食品工業論	食品産業論
食品安全学Ⅱ	醸造食品学概論
有機化学演習	生化学・微生物学演習
物理化学演習	栄養・食品科学演習
	グリーンエネルギー・ファーム論と実習
応用数学	食品基礎統計学

専門科目 84 単位以上

自然科学科目群 (20 単位以上)

(下記推薦科目 選択必修 16 単位以上)

微分積分学 A, B	線形代数学 A, B	基礎有機化学Ⅰ
基礎物理化学要論	物理学基礎論 A, B	基礎化学実験
基礎物理化学 (熱力学, 量子論)		

外国語科目群 (16 単位以上)

英語 初修外国語

E 科目 8 単位以上

人文・社会科学科目群 (16 単位以上)

下記科目群 (8 単位以上)

情報学科目群	健康・スポーツ科目群	キャリア形成科目群
統合科学科目群	少人数教育科目群	

全学共通科目 60 単位以上

科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、授業科目を分類し、学問分野や履修レベルなど番号等で示すことにより、個々の科目の分野や履修レベルを明確にし、教育課程を体系的にわかりやすく明示するシステムのことです。

農学部科目ナンバリングコードは、数字とアルファベットを合わせた15桁で示されます。

農学部全授業科目のナンバリングコードは、農学研究科・農学部ホームページ (http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/student/dep_curriculum/) に掲載しています。

【例】 「資源生物科学基礎」

U AGR 01 1 A103 L J 68

①課程コード（英字1文字）：

U（学部）

②開講部局等コード（英字3～4文字）：

AGR（農学部）

③学科等コード（数字2桁）：

00（学科共通）、01（資源生物科学科）、02（応用生命科学科）、
03（地域環境工学科）、04（食料・環境経済学科）、05（森林科学科）、
06（食品生物科学科）

④レベルコード（数字1桁）：

- 1 導入的な内容の科目（関連科目の履修や一定の予備知識を前提としない科目）、主として1年生相当科目、
- 2 基礎的な内容の科目（関連科目の履修や一定の予備知識を前提とする科目）、主として2年生相当科目、
- 3 発展的な内容の科目、主として3年生相当科目、
- 4 応用的な内容の科目（卒業論文・卒業研究関連科目）、主として4年生相当科目

⑤通し番号（英数字4桁）：

「学生便覧」科目表の科目コード4桁。

学部共通科目については、0001～の通し番号。

⑥授業形態コード（英字1文字）：

L（講義）、S（演習）、P（実習）、E（実験）、F（フィールドワーク）、
G（卒業研究）、O（その他）

⑦言語コード（英字1文字）：

J（日本語）、E（英語）、B（日英バイリンガル）、O（その他外国語）

⑧学問分野コード（数字2桁）：

次頁の学問分野コード表 参照

※複数分野にまたがる場合は、1授業科目に3つまで学問分野コードが付加されますが、その場合は1授業科目3つのナンバリングコードが存在することになります。

資源生物科学科
Department of Bioresource Science

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学間分野
A101	農学概論I	U	AGR	00	1	0001	L	J	85, 82, 34
A102	農学概論II	U	AGR	00	1	0002	L	J	
A103	資源生物科学基礎	U	AGR	01	1	A103	L	J	68
A104	細胞生物学I	U	AGR	01	2	A104	L	J	69
A105	資源生物科学概論A	U	AGR	01	1	A105	L	J	68, 78, 84
A106	資源生物科学概論B	U	AGR	01	1	A106	L	J	78, 81, 85
A109	細胞生物学II	U	AGR	01	2	A109	L	J	69
A110	細胞生物学III	U	AGR	01	2	A110	L	J	69
A112	生態学	U	AGR	01	2	A112	L	J	69, 78, 85
A115	植物生理学I	U	AGR	01	2	A115	L	J	68
A116	大気環境学	U	AGR	00	2	0003	L	J	15
A117	生物統計学	U	AGR	01	2	A117	L	J	10
A201	土壌学	U	AGR	01	3	A201	L	J	78, 79
A202	海洋動物学	U	AGR	01	2	A202	L	J	81
A203	植物生産科学技術論と農場実習I	U	AGR	01	2	A203	P	J	78
A204	応用動物科学技術論と実習I	U	AGR	01	2	A204	P	J	84
A205	海洋生物科学技術論と実習I	U	AGR	01	2	A205	P	J	81
A206	海洋生物科学技術論と実習II	U	AGR	01	2	A206	P	J	81
A207	海洋生物科学技術論と実習III	U	AGR	01	2	A207	P	J	81
A209	栽培植物起源学	U	AGR	01	3	A209	L	B	78
A210	植物生理学II	U	AGR	01	3	A210	L	J	68
A211	作物学	U	AGR	01	3	A211	L	J	78
A212	育種学	U	AGR	01	3	A212	L	J	78
A213	蔬菜園芸学	U	AGR	01	3	A213	L	J	78
A214	果樹園芸学	U	AGR	01	3	A214	L	J	78
A215	植物生産管理学	U	AGR	01	3	A215	L	J	78
A216	栽培システム学	U	AGR	01	3	A216	L	J	78
A218	動物遺伝育種学	U	AGR	01	3	A218	L	J	84
A219	動物生殖生物学	U	AGR	01	3	A219	L	J	84
A220	動物栄養科学	U	AGR	01	3	A220	L	J	84
A221	動物身体機構学	U	AGR	01	3	A221	L	J	84
A222	資源動物生産学	U	AGR	01	2	A222	L	J	84
A223	海洋生物環境学I	U	AGR	01	3	A223	L	J	81
A224	海洋生物生態学	U	AGR	01	3	A224	L	J	81
A225	海洋微生物学I	U	AGR	01	3	A225	L	J	81
A226	海洋生物資源利用学	U	AGR	01	3	A226	L	J	81
A227	海洋環境微生物学	U	AGR	01	3	A227	L	J	81
A228	雑草学	U	AGR	01	3	A228	L	J	78
A229	植物病理学I	U	AGR	01	3	A229	L	J	78
A230	昆虫生態学I	U	AGR	01	2	A230	L	J	68, 85
A231	昆虫生理学	U	AGR	01	3	A231	L	J	85
A232	熱帯農業生態学	U	AGR	01	3	A232	L	J	85
A233	真菌科学	U	AGR	01	3	A233	L	J	68, 78
A234	害虫管理学	U	AGR	01	3	A234	L	J	78
A235	生物圏情報学I	U	AGR	01	3	A235	L	J	80, 81, 84
A240	植物生産科学技術論と農場実習II	U	AGR	01	3	A240	P	J	78
A243	花卉園芸学	U	AGR	01	3	A243	L	J	78
A247	動物生産管理学	U	AGR	01	3	A247	L	J	84
A248	海洋生物生理学	U	AGR	01	3	A248	L	J	81
A249	海洋微生物学II	U	AGR	01	3	A249	L	J	81
A251	海洋生物機能学I	U	AGR	01	3	A251	L	J	81
A253	昆虫生態学II	U	AGR	01	3	A253	L	J	68, 85
A254	生態制御学	U	AGR	01	3	A254	L	J	78
A257	遺伝学I	U	AGR	01	2	A257	L	J	69
A258	海洋生物科学技術論と実習IV	U	AGR	01	2	A258	P	J	81
A259	海洋生物科学	U	AGR	01	2	A259	L	J	81
A260	ゲノム情報解析入門	U	AGR	01	2	A260	L	B	66
A261	海洋生物科学特別講義	U	AGR	01	2	A261	L	J	81
A262	生物先端科学特別講義	U	AGR	01	2	A262	L	J	78, 79, 85
A264	動物分子生理学	U	AGR	01	2	A264	L	J	69
A265	応用動物科学特別講義	U	AGR	01	2	A265	L	J	84
A266	植物生産科学	U	AGR	01	2	A266	L	J	78
A267	応用動物科学	U	AGR	01	2	A267	L	J	68, 84
A268	生物先端科学	U	AGR	01	2	A268	L	J	68, 78, 85
A269	稲と麦と大豆の科学	U	AGR	01	2	A269	L	J	78
A270	果樹と野菜と品質の科学	U	AGR	01	2	A270	L	J	78
A271	耕地と環境の科学	U	AGR	01	2	A271	L	J	78, 79, 85
A272	海洋資源生物学基礎	U	AGR	01	2	A272	L	J	81
A273	海洋微生物学基礎	U	AGR	01	2	A273	L	J	81
A274	水産食品学基礎	U	AGR	01	2	A274	L	J	81
A275	魚類学	U	AGR	01	3	A275	L	J	81
A276	動物細胞生理学	U	AGR	01	2	A276	L	J	69
A277	植物生産科学特別講義	U	AGR	01	2	A277	L	J	66
A278	植物生産科学外書講義	U	AGR	01	3	A278	L	J	78, 81, 84
A279	応用動物科学外書講義I	U	AGR	01	3	A279	L	J	78, 81, 84
A280	応用動物科学外書講義II	U	AGR	01	3	A280	L	J	78, 81, 84
A281	海洋生物科学外書講義	U	AGR	01	3	A281	L	J	78, 81, 84
A282	植物生産科学実験及び実験法I	U	AGR	01	3	A282	E	J	78, 81, 84
A283	植物生産科学実験及び実験法II	U	AGR	01	3	A283	E	J	78, 81, 84
A284	応用動物科学実験及び実験法I	U	AGR	01	3	A284	E	J	78, 81, 84
A285	応用動物科学実験及び実験法II	U	AGR	01	3	A285	E	J	78, 81, 84
A286	海洋生物科学実験及び実験法I	U	AGR	01	3	A286	E	J	78, 81, 84
A287	海洋生物科学実験及び実験法II	U	AGR	01	3	A287	E	J	78, 81, 84
A288	生物先端科学実験及び実験法I	U	AGR	01	3	A288	E	J	78, 81, 84
A289	生物先端科学実験及び実験法II	U	AGR	01	3	A289	E	J	78, 81, 84
A290	品質設計開発学	U	AGR	01	3	A290	L	J	79
A291	品質評価学	U	AGR	01	3	A291	L	J	68, 79
A301	遺伝学II	U	AGR	01	3	A301	L	J	69

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
A304	動物ゲノム科学	U	AGR	01	3	A304	L	J	66, 69, 84
A305	動物栄養機能学	U	AGR	01	3	A305	L	J	84
A307	海洋生物環境学II	U	AGR	01	3	A307	L	J	81
A309	植物病理学II	U	AGR	01	3	A309	L	J	78
A312	農薬科学	U	AGR	01	3	A312	L	J	78, 85
A313	海洋環境微生物学II	U	AGR	01	3	A313	L	J	81
A315	応用動物科学技術論と実習II	U	AGR	01	4	A315	P	J	84
A317	海洋生物機能学II	U	AGR	01	3	A317	L	J	81
A318	作物・雑草管理の科学	U	AGR	01	3	A318	L	J	78
A319	植物分子育種学	U	AGR	01	3	A319	L	J	78
A320	作物品質科学	U	AGR	01	3	A320	L	J	79
A321	耕地生態学	U	AGR	01	3	A321	L	J	78
A501	資源生物科学特別科目I								
A502	資源生物科学特別科目II								
A503	資源生物科学特別科目III								
A504	資源生物科学特別科目IV								
A505	作物科学演習	U	AGR	01	4	A505	S	B	78
A506	園芸科学演習	U	AGR	01	4	A506	S	J	78
A507	耕地生態科学演習	U	AGR	01	4	A507	S	J	78
A508	品質科学演習	U	AGR	01	4	A508	S	J	68, 79
A509	生産管理科学演習	U	AGR	01	4	A509	S	J	78
A510	応用動物科学演習I	U	AGR	01	4	A510	S	J	84
A511	応用動物科学演習II	U	AGR	01	4	A511	S	J	84
A512	海洋生物資源学演習	U	AGR	01	4	A512	S	J	81
A513	海洋微生物学演習	U	AGR	01	4	A513	S	J	81
A514	海洋生物生産学演習	U	AGR	01	4	A514	S	J	81
A515	資源植物科学演習	U	AGR	01	4	A515	S	J	68
A516	植物保護科学演習	U	AGR	01	4	A516	S	B	78, 85
A517	生産生態科学演習	U	AGR	01	4	A517	S	J	78, 79, 85
A518	課題研究	U	AGR	01	4	A518	G	J	78, 81, 84
A519	グリーンエネルギーファーム論と実習	U	AGR	01	1	A519	O	J	19, 28, 78
A520	特別海洋実習I	U	AGR	01	1	A520	O	J	81
A521	特別海洋実習II	U	AGR	01	1	A521	O	J	81
A522	食草の栽培学と実習	U	AGR	01	2	A522	O	J	19, 78
A523	農業と農学の最前線	U	AGR	01	3	A523	O	J	78

応用生命科学科

Department of Applied Life Sciences

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
B101	農学概論I	U	AGR	00	1	0001	L	J	85, 82, 34
B102	農学概論II	U	AGR	00	1	0002	L	J	
B103	応用生命科学入門I	U	AGR	02	1	B103	L	J	79
B104	応用生命科学入門II	U	AGR	02	1	B104	L	J	79
B105	応用生命科学入門III	U	AGR	02	1	B105	L	J	79
B106	応用生命科学入門IV	U	AGR	02	1	B106	L	J	79
B107	応用生命科学概論	U	AGR	02	2	B107	L	J	79
B111	細胞生物学概論	U	AGR	02	2	B111	L	J	79
B112	生化学I	U	AGR	02	2	B112	L	J	79
B113	生化学II	U	AGR	02	2	B113	L	J	79
B114	有機構造解析学	U	AGR	02	2	B114	L	J	79
B115	生物理化学I	U	AGR	02	2	B115	L	J	79
B116	生物理化学II	U	AGR	02	3	B116	L	J	79
B117	分析化学	U	AGR	02	3	B117	L	J	79
B118	有機反応機構論I	U	AGR	02	2	B118	L	J	79
B119	有機反応機構論II	U	AGR	02	2	B119	L	J	79
B120	生物有機化学I	U	AGR	02	3	B120	L	J	79
B121	生物有機化学II	U	AGR	02	3	B121	L	J	79
B122	生物有機化学III	U	AGR	02	3	B122	L	J	79
B123	一般生体高分子化学	U	AGR	02	3	B123	L	J	79
B124	生体高分子構造論	U	AGR	02	3	B124	L	J	79
B126	微生物学概論	U	AGR	00	2	0004	L	J	79
B127	微生物分子遺伝学	U	AGR	02	3	B127	L	J	79
B128	発酵生理学	U	AGR	02	3	B128	L	J	79
B130	植物栄養学	U	AGR	02	3	B130	L	J	79
B131	植物生化学I	U	AGR	02	3	B131	L	J	79
B132	分子生物学I	U	AGR	02	3	B132	L	J	79
B133	分子生物学II	U	AGR	02	3	B133	L	J	79
B134	分子細胞生物学I	U	AGR	02	3	B134	L	J	79
B135	分子細胞生物学II	U	AGR	02	3	B135	L	J	79
B138	醸造食品学概論	U	AGR	02	4	B138	L	J	79
B141	専門外国書講読	U	AGR	02	3	B141	L	J	79
B142	植物生化学II	U	AGR	02	3	B142	L	J	79
B145	産業微生物学	U	AGR	02	3	B145	L	J	79
B221	分析化学実験	U	AGR	02	3	B221	E	J	79
B222	生化学実験	U	AGR	02	3	B222	E	J	79
B223	分子生物学実験	U	AGR	02	3	B223	E	J	79
B224	植物生化学実験	U	AGR	02	3	B224	E	J	79
B226	応用微生物学実験	U	AGR	02	3	B226	E	J	79
B227	有機化学実験	U	AGR	02	3	B227	E	J	79
B228	生物理化学実験	U	AGR	02	3	B228	E	J	79
B230	応用生命科学演習I	U	AGR	02	4	B230	S	B	79
B231	応用生命科学演習II	U	AGR	02	4	B231	S	B	79
B301	課題研究	U	AGR	02	4	B301	G	B	79

地域環境工学科

Department of Agricultural and Environmental Engineering

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
C101	農学概論I	U	AGR	00	1	0001	L	J	85, 82, 34
C102	農学概論II	U	AGR	00	1	0002	L	J	
C103	地域環境工学概論I	U	AGR	03	1	C103	L	J	83
C104	地域環境工学概論II	U	AGR	03	1	C104	L	J	83
C105	地域環境工学概論III	U	AGR	03	1	C105	S	J	83
C111	大気環境学	U	AGR	00	2	0003	L	J	15
C114	応用数学	U	AGR	03	2	C114	L	J	83
C115	応用力学	U	AGR	03	2	C115	L	J	83
C116	材料力学	U	AGR	03	2	C116	L	J	83
C117	水理学	U	AGR	03	2	C117	L	J	83
C121	工業数学	U	AGR	03	2	C121	L	J	55
C122	環境動態学	U	AGR	03	3	C122	L	J	15
C123	測量学	U	AGR	03	3	C123	L	J	83
C124	土木材料学	U	AGR	03	2	C124	L	J	83
C125	構造解析学	U	AGR	03	3	C125	L	J	83
C126	土壌物理学	U	AGR	03	2	C126	L	J	83
C127	環境水文学	U	AGR	03	3	C127	L	J	83
C128	地域整備開発施設学	U	AGR	03	3	C128	L	J	83
C129	灌漑排水学	U	AGR	03	3	C129	L	J	83
C130	農村計画学	U	AGR	03	3	C130	L	J	83
C131	農地整備学	U	AGR	03	3	C131	L	J	83
C132	水資源利用学	U	AGR	03	3	C132	L	J	83
C133	利水システム工学	U	AGR	03	3	C133	L	J	83
C134	国土・地域計画	U	AGR	03	4	C134	L	J	83
C135	農業農村整備政策論	U	AGR	03	3	C135	L	J	83
C140	生物生産機械学	U	AGR	03	2	C140	L	J	83
C141	生物センシング工学	U	AGR	03	3	C141	L	J	83
C142	振動学	U	AGR	03	2	C142	L	J	83
C143	熱力学及び伝熱工学	U	AGR	03	2	C143	L	J	83
C144	数値計画法	U	AGR	03	2	C144	L	J	83
C145	農業システム工学	U	AGR	03	3	C145	L	J	83
C146	フィールドロボティクス	U	AGR	03	3	C146	L	J	83
C147	農産物性科学	U	AGR	03	3	C147	L	J	83
C148	制御工学	U	AGR	03	3	C148	L	J	83
C149	機械設計	U	AGR	03	3	C149	L	J	83
C150	電気・電子工学	U	AGR	03	3	C150	L	J	83
C151	技術英語	U	AGR	03	3	C151	S	E	83
C152	Introduction to Foreign Literature on Bio-Systems Engineering (Intro. Bio-Sys. Eng.)	U	AGR	03	3	C152	P	E	83
C153	米のポストハーベスト技術	U	AGR	03	3	C153	L	J	83
C211	情報処理学及び演習I	U	AGR	03	2	C211	P	J	83
C212	情報処理学及び演習II	U	AGR	03	2	C212	P	J	83
C221	土木材料・環境地盤工学実験	U	AGR	03	3	C221	E	J	83
C222	水理学実験	U	AGR	03	3	C222	E	J	83
C223	土壌物理学・水環境工学実験	U	AGR	03	3	C223	E	J	83
C224	測量法及び実習	U	AGR	03	3	C224	P	J	83
C225	施設機能工学演習	U	AGR	03	3	C225	S	J	83
C226	計算水理学演習	U	AGR	03	3	C226	S	J	83
C227	生物生産工学実験I	U	AGR	03	3	C227	E	J	83
C228	生物生産工学実験II	U	AGR	03	3	C228	E	J	83
C229	製図 (C A D) 演習	U	AGR	03	3	C229	S	J	83
C230	地域環境工学実習	U	AGR	03	3	C230	P	J	83
C241	灌漑排水学演習	U	AGR	03	4	C241	S	J	83
C242	農村整備計画演習	U	AGR	03	4	C242	S	J	83
C244	生物生産工学演習	U	AGR	03	4	C244	S	B	83
C301	課題研究	U	AGR	03	4	C301	G	J	83

食料・環境経済学科

Department of Food and Environmental Economics

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学間分野
D101	農学概論I	U	AGR	00	1	0001	L	J	85, 82, 34
D102	農学概論II	U	AGR	00	1	0002	L	J	
D103	食料・環境経済学概論	U	AGR	04	1	D103	L	J	82
D104	食料・環境経済基礎論	U	AGR	04	1	D104	L	J	82
D105	経営学基礎	U	AGR	04	1	D105	L	J	44
D106	応用ミクロ経済学入門	U	AGR	04	1	D106	L	J	43
D107	社会経済学入門	U	AGR	04	1	D107	L	J	43
D201	経済原論I（応用ミクロ経済学）	U	AGR	04	2	D201	L	J	43
D202	経済原論II（社会経済学）	U	AGR	04	2	D202	L	J	43
D203	経済原論III（経済発展論）	U	AGR	04	2	D203	L	J	43
D204	アグロフードシステム論	U	AGR	04	2	D204	L	J	82
D205	農業発展論	U	AGR	04	2	D205	L	J	82
D206	社会経済史	U	AGR	04	2	D206	L	J	82
D207	経済思想史	U	AGR	04	2	D207	L	J	43
D208	協同組合論	U	AGR	04	2	D208	L	J	82
D209	農林統計学	U	AGR	04	2	D209	L	J	82
D210	農業会計学基礎実習	U	AGR	04	2	D210	P	J	82
D211	統計データ分析	U	AGR	04	2	D211	L	J	82
D212	調査研究方法実習I	U	AGR	04	2	D212	P	J	82
D213	調査研究方法実習II	U	AGR	04	2	D213	P	J	82
D301	農業食料組織経営学	U	AGR	04	3	D301	L	J	82
D302	農業経営情報会計学	U	AGR	04	3	D302	L	J	82
D303	資源環境経済学	U	AGR	04	3	D303	L	J	82
D304	食料・環境政策学	U	AGR	04	3	D304	L	J	82
D305	森林政策学	U	AGR	04	3	D305	L	J	43
D306	国際農村発展論	U	AGR	04	3	D306	L	J	82
D307	農業・農村史	U	AGR	04	3	D307	L	J	82
D308	農学原論	U	AGR	04	3	D308	L	J	82
D309	農業資金会計論	U	AGR	04	3	D309	L	J	82
D310	資源環境分析学	U	AGR	04	3	D310	L	J	82
D311	食料経済論	U	AGR	04	3	D311	L	J	82
D312	森林経済学	U	AGR	04	3	D312	L	E	43
D313	農村社会学	U	AGR	04	3	D313	L	J	82
D314	食料・農業経済情報論	U	AGR	04	3	D314	L	J	82
D315	食農倫理論	U	AGR	04	3	D315	L	J	82
D316	応用ミクロ経済学方法論	U	AGR	04	3	D316	L	J	43
D317	専門外国書講義I（英語I）	U	AGR	04	3	D317	L	E	43
D318	専門外国書講義II（ドイツ語）	U	AGR	04	3	D318	L	J	82
D319	専門外国書講義III（英語II）	U	AGR	04	3	D319	L	E	82
D320	農林経営経済調査実習	U	AGR	04	3	D320	P	J	82
D331	農業食料組織経営学演習I	U	AGR	04	3	D331	S	J	82
D332	農業経営情報会計学演習I	U	AGR	04	3	D332	S	J	82
D333	資源環境経済学演習I	U	AGR	04	3	D333	S	J	82
D334	食料・環境政策学演習I	U	AGR	04	3	D334	S	J	82
D335	森林経済政策学演習I	U	AGR	04	3	D335	S	J	43
D336	国際農村発展論演習I	U	AGR	04	3	D336	S	J	82
D337	農業・農村史演習I	U	AGR	04	3	D337	S	J	82
D338	農学原論演習I	U	AGR	04	3	D338	S	J	82
D401	農業食料組織経営学演習II	U	AGR	04	4	D401	S	J	82
D402	農業食料組織経営学演習III	U	AGR	04	4	D402	S	J	82
D403	農業経営情報会計学演習II	U	AGR	04	4	D403	S	J	82
D404	農業経営情報会計学演習III	U	AGR	04	4	D404	S	J	82
D405	資源環境経済学演習II	U	AGR	04	4	D405	S	J	82
D406	資源環境経済学演習III	U	AGR	04	4	D406	S	J	82
D407	食料・環境政策学演習II	U	AGR	04	4	D407	S	J	82
D408	食料・環境政策学演習III	U	AGR	04	4	D408	S	J	82
D409	森林経済政策学演習II	U	AGR	04	4	D409	S	J	82
D410	森林経済政策学演習III	U	AGR	04	4	D410	S	J	82
D411	国際農村発展論演習II	U	AGR	04	4	D411	S	J	82
D412	国際農村発展論演習III	U	AGR	04	4	D412	S	J	82
D413	農業・農村史演習II	U	AGR	04	4	D413	S	J	82
D414	農業・農村史演習III	U	AGR	04	4	D414	S	J	82
D415	農学原論演習II	U	AGR	04	4	D415	S	J	82
D416	農学原論演習III	U	AGR	04	4	D416	S	J	82
D421	食料・環境経済学特別講義I	U	AGR	04	3	D421	L	J	82
D422	食料・環境経済学特別講義II	U	AGR	04	3	D422	L	J	82
D423	食料・環境経済学特別講義III	U	AGR	04	4	D423	L	J	82
D424	食料・環境経済学特別講義IV	U	AGR	04	4	D424	L	J	82
D425	食料・環境経済学特別講義V	U	AGR	04	3	D425	L	J	82
D460	職業指導	U	AGR	04	1	D460	L	J	82
D501	課題研究論文執筆演習	U	AGR	04	4	D501	S	J	82
D502	課題研究	U	AGR	04	4	D502	G	J	82

森林科学科

Department of Forest and Biomaterials Science

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学間分野
E101	農学概論I	U	AGR	00	1	0001	L	J	85, 82, 34
E102	農学概論II	U	AGR	00	1	0002	L	J	
E103	森林科学概論A	U	AGR	05	1	E103	L	J	80
E104	森林科学概論B	U	AGR	05	1	E104	L	J	80
E105	森林基礎科学A	U	AGR	05	1	E105	L	J	80
E106	森林基礎科学B	U	AGR	05	1	E106	L	J	80
E107	森林基礎科学C	U	AGR	05	2	E107	L	J	80
E108	森林基礎科学D	U	AGR	05	2	E108	L	J	80
E109	森林基礎科学E	U	AGR	05	2	E109	L	J	80
E110	森林基礎科学F	U	AGR	05	2	E110	L	J	80
E111	森林初修生物学	U	AGR	05	1	E111	O	J	69
E112	森林初修化学	U	AGR	05	1	E112	L	J	60
E113	森林初修物理学	U	AGR	05	1	E113	L	J	57
E114	森林専門外国書講読	U	AGR	05	4	E114	O	J	80
E121	樹木植物概論	U	AGR	05	2	E121	L	J	80
E123	熱帯林環境学	U	AGR	05	3	E123	L	J	80
E124	生物多様性保全学	U	AGR	05	3	E124	L	J	80
E125	森林動物学	U	AGR	05	3	E125	L	J	80
E131	森林生化学I	U	AGR	05	2	E131	L	J	80
E132	森林生化学II	U	AGR	05	3	E132	L	J	80
E133	森林分子生物学	U	AGR	05	4	E133	L	J	80
E134	樹木細胞生物学	U	AGR	05	3	E134	L	J	80
E135	細胞壁形成論	U	AGR	05	3	E135	L	J	80
E141	森林高分子科学I	U	AGR	05	2	E141	L	J	80
E142	森林高分子科学II	U	AGR	05	3	E142	L	J	80
E143	バイオマス複合材料化学	U	AGR	05	3	E143	L	J	80
E144	生物材料構造学	U	AGR	05	3	E144	L	J	80
E145	セルロース化学	U	AGR	05	3	E145	L	J	80
E146	リグニン化学	U	AGR	05	3	E146	L	J	80
E147	森林有機化学	U	AGR	05	3	E147	L	J	80
E148	森林物理化学	U	AGR	05	2	E148	L	J	80
E151	生物材料物性学I	U	AGR	05	2	E151	L	J	80
E152	生物材料物性学II	U	AGR	05	3	E152	L	J	80
E153	住環境学	U	AGR	05	3	E153	L	J	80
E154	木材加工学I	U	AGR	05	3	E154	L	J	80
E155	木材加工学II	U	AGR	05	3	E155	L	J	80
E161	森林生態学	U	AGR	05	3	E161	L	J	80
E162	群集生態学	U	AGR	05	3	E162	L	J	80
E171	森林経営学	U	AGR	05	2	E171	L	J	80
E172	森林計画学	U	AGR	05	3	E172	L	J	80
E173	森林法律論	U	AGR	05	3	E173	L	J	80
E174	造園学	U	AGR	05	3	E174	L	J	80
E175	緑地植物学	U	AGR	05	4	E175	L	J	80
E176	緑地計画論	U	AGR	05	4	E176	L	J	80
E177	環境地球科学A (地圏災害学)	U	AGR	05	3	E177	L	J	80
E178	環境地球科学B (森林水文学)	U	AGR	05	3	E178	L	J	80
E179	砂防学	U	AGR	05	3	E179	L	J	80
E182	生物圏情報学II	U	AGR	05	3	E182	L	J	80
E183	バイオマスエネルギー	U	AGR	05	3	E183	L	J	80
E191	森林育成学	U	AGR	05	3	E191	L	J	80
E192	森林環境学	U	AGR	05	3	E192	L	J	80
E193	森林土壌学	U	AGR	05	3	E193	L	J	80
E194	生態系シミュレーション	U	AGR	05	4	E194	L	J	80
E195	木材保存学	U	AGR	05	4	E195	L	J	80
E196	木質材料学	U	AGR	05	4	E196	L	J	80
E197	木質構造学	U	AGR	05	3	E197	L	J	80
E200	大気環境学	U	AGR	00	2	0003	L	J	15
E221	森林基礎科学実習I	U	AGR	05	2	E221	P	J	80
E222	森林基礎科学実習II	U	AGR	05	2	E222	P	J	80
E223	森林科学のためのPC利用実習	U	AGR	05	2	E223	P	J	80
E231	森林フィールド系実習及び実習法	U	AGR	05	3	E231	E	J	80
E232	森林マテリアル系実験及び実験法	U	AGR	05	3	E232	E	J	80
E233	森林利用学実習及び実習法	U	AGR	05	3	E233	P	J	80
E234	基礎生態学実験及び実験法	U	AGR	05	3	E234	E	J	80
E235	応用生態学実験及び実験法	U	AGR	05	3	E235	E	J	80
E236	森林水文・砂防学実験及び実験法	U	AGR	05	3	E236	E	J	80
E237	木材構造学・木材工学実験及び実験法	U	AGR	05	3	E237	E	J	80
E238	バイオマス化学実験及び実験法	U	AGR	05	3	E238	E	J	80
E239	木材加工学実験及び実験法	U	AGR	05	3	E239	E	J	80
E240	造園学実習I	U	AGR	05	3	E240	P	J	80
E241	造園学実習II	U	AGR	05	4	E241	P	J	80
E242	建築設計・製図実習	U	AGR	05	4	E242	P	J	80
E243	地域林業調査実習	U	AGR	05	3	E243	P	J	80
E251	研究林実習I	U	AGR	05	2	E251	P	J	80
E252	研究林実習II	U	AGR	05	3	E252	P	J	80
E253	研究林実習III	U	AGR	05	3	E253	P	J	80
E254	研究林実習IV	U	AGR	05	3	E254	P	J	80
E301	森林科学演習	U	AGR	05	4	E301	P	J	80
E302	課題研究	U	AGR	05	4	E302	G	J	80
E401	森林科学特別科目I	U	AGR	05	3	E401	O	J	80
E402	森林科学特別科目II	U	AGR	05	3	E402	L	J	80

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
E403	森林科学特別科目III	U	AGR	05	3	E403	L	J	80
E404	森林科学特別科目IV	U	AGR	05	3	E404	L	J	80
E405	森林科学特別科目V	U	AGR	05	3	E405	L	J	80
E406	森林科学特別科目VI	U	AGR	05	3	E406	L	J	80
E407	森林科学特別科目VII	U	AGR	05	3	E407	L	J	80
E408	森林科学特別科目VIII	U	AGR	05	3	E408	L	J	80
E409	森林科学特別科目IX	U	AGR	05	3	E409	L	J	80
E410	森林科学特別科目X	U	AGR	05	3	E410	L	J	80
E501	特別森林実習I	U	AGR	05	3	E501	P	J	80
E502	特別森林実習II	U	AGR	05	3	E502	P	J	80
E503	特別森林実習III	U	AGR	05	3	E503	P	J	80

食品生物科学科

Department of Food Science and Biotechnology

科目番号	科 目 名	①課程	②開講部局等	③学科等	④レベル	⑤通し番号	⑥授業形態	⑦言語	⑧学問分野
F001	農学概論I	U	AGR	00	1	0001	L	J	85, 82, 34
F002	農学概論II	U	AGR	00	1	0002	L	J	
F102	基礎生化学I	U	AGR	06	1	F102	L	J	79
F103	基礎生化学II	U	AGR	06	1	F103	L	J	79
F104	食品有機化学I	U	AGR	06	1	F104	L	J	79
F105	食品有機化学II	U	AGR	06	2	F105	L	J	79
F106	食品有機化学III	U	AGR	06	2	F106	L	J	79
F107	食品安全学I	U	AGR	06	3	F107	L	J	79
F108	食品安全学II	U	AGR	06	4	F108	L	J	79
F109	食品物理化学I	U	AGR	06	1	F109	L	J	79
F110	食品物理化学II	U	AGR	06	2	F110	L	J	79
F111	食品基礎分子生物学I	U	AGR	06	2	F111	L	J	79
F112	食品基礎分子生物学II	U	AGR	06	2	F112	L	J	79
F113	食品機能学	U	AGR	06	3	F113	L	J	79
F114	応用酵素化学	U	AGR	06	3	F114	L	J	79
F115	微生物学概論	U	AGR	00	2	0004	L	J	79
F116	酵素化学	U	AGR	06	2	F116	L	J	79
F117	天然物化学	U	AGR	06	3	F117	L	J	79
F118	栄養化学	U	AGR	06	2	F118	L	J	79
F119	食品工学I	U	AGR	06	2	F119	L	J	79
F120	食品工学II	U	AGR	06	3	F120	L	J	79
F121	食品生理学	U	AGR	06	3	F121	L	J	79
F122	微生物遺伝学	U	AGR	06	3	F122	L	J	79
F123	食品分子生物学I	U	AGR	06	2	F123	L	J	79
F124	食品分子生物学II	U	AGR	06	3	F124	L	J	79
F125	微生物生産学	U	AGR	06	3	F125	L	J	79
F126	食品化学	U	AGR	06	3	F126	L	J	79
F127	食品工業論	U	AGR	06	4	F127	L, P	J	79
F129	食品分析化学	U	AGR	06	2	F129	L	J	79
F130	食品産業論	U	AGR	06	4	F130	L, P	J	79
F131	食品基礎統計学	U	AGR	06	2	F131	L	J	10
F301	食品生物科学概論	U	AGR	06	1	F301	L, P	J	79
F310	*食品有機化学実験及び実験法	U	AGR	06	3	F310	E	J	79
F311	*食品生化学実験及び実験法	U	AGR	06	3	F311	E	J	79
F312	*食品生物工学実験及び実験法	U	AGR	06	3	F312	E	J	79
F313	*栄養生理学実験及び実験法	U	AGR	06	3	F313	E	J	79
F314	*応用微生物学実験及び実験法	U	AGR	06	3	F314	E	J	79
F315	*分子生物学実験及び実験法	U	AGR	06	3	F315	E	J	79
F302	有機化学演習	U	AGR	06	3	F302	S	J	79
F303	生化学・微生物学演習	U	AGR	06	3	F303	S	J	79
F304	物理化学演習	U	AGR	06	3	F304	S	J	79
F305	栄養・食品科学演習	U	AGR	06	3	F305	S	J	79
F309	課題研究	U	AGR	06	4	F309	G	J	79

科目ナンバリング		U-LAS70 10002 SE50					
授業科目名 <英訳>	ILAS Seminar-E2 :Regional Disaster Prevention (地域防災学) ILAS Seminar-E2 :Regional Disaster Prevention			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 特定助教 KOCH, Michael Conrad		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	農学部総合館W402 (北部構内)			使用言語	英語
キーワード	soil mechanics / dam failure / earthquake / tsunami / disaster management						
【授業の概要・目的】							
This course will take a case study approach to regional disasters. The course contents will include learning from past disasters through forensic analysis to determine the mechanism of failure. Such knowledge can be extremely valuable to inform future design. This will be supplemented with analysis of state-of-the-art research on disaster prevention technologies. The course is intended to be a deep-dive into specific disasters like dam failure under heavy rainfall conditions, breakwater performance under tsunami impact etc. To this end, the course will introduce a few fundamental concepts in soil mechanics, engineering geology, hydraulics of groundwater as well as natural hazards. Along with such technical tools, students will also be introduced to the frameworks of vulnerability, risk assessment and disaster management.							
【到達目標】							
After the successful completion of the course, students will be able (1) To understand fundamental physics concepts related to particular disasters, (2) to understand basic forensic analysis, (3) to analyse specific state of the art disaster mitigation technologies and (4) to perform basic vulnerability and disaster risk assessment.							
【授業計画と内容】							
The class in the first week will provide an overview of the contents of the course. As a general outline, the necessary concepts required to understand the basic mechanism of a particular disaster will be highlighted. Following this, students will work individually or in teams to analyze relevant case histories/experimental studies/research papers assigned to them. Students are expected to clearly (a) identify the problem (b) explain the failure mechanism or any other relevant result using the concepts taught and (c) provide critical comments wherever possible. An indicative schedule for the course is as follows (1) Introduction and highlights of case histories/experimental studies/research papers [1 week] (2) Fundamental concepts related to regional disaster - 1 [3-4 weeks] (3) Analysis of case history/experimental studies/research papers - 1 [2-3 weeks] (4) Fundamental concepts related to regional disaster - 2 [2-3 weeks] (5) Analysis of case history/experimental studies/research papers - 2 [2-3 weeks] (6) Understanding vulnerability: political, physical, social, economic and environmental factors [1 week] (7) Disaster risk identification and assessment [1 week] (8) Final presentation [1 week] (9) Feedback [1 week]							
ILAS Seminar-E2 :Regional Disaster Prevention (地域防災学) (2)へ続く...							

ILAS Seminar-E2 :Regional Disaster Prevention (地域防災学) (2)

Total: 14 classes and 1 feedback session

【履修要件】

Beneficial but not mandatory: basic mathematics and physics (high school level). Students must be willing to work with basic mathematics.

【成績評価の方法・観点】

- Class participation (25%, students are expected to actively participate in discussion)
- Assignment report (30%)
- Oral presentation (45%)

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)

Budhu M 『Soil mechanics and foundations』 (John Wiley & Sons) ISBN:13 978-0-471-43117-6
Journal papers related to case studies will be handed out during class.

【授業外学修 (予習・復習) 等】

Students are expected to be independent in finding online resources to attain relevant issues of discussion during seminar to enhance student interaction and understanding during classes.

【その他 (オフィスアワー等) 】

After class, student consultation will be arranged with prior notice.

科目ナンバリング		U-LAS70 10002 SE50					
授業科目名 <英訳>	ILAS Seminar-E2 :Geo-Disaster Risk Reduction and Prevention (土砂災害の防災・減災学) ILAS Seminar-E2 :Geo-Disaster Risk Reduction and Prevention			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 特定助教 KOCH, Michael Conrad		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・後期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	農学部総合館W402 (北部構内)			使用言語	英語
キーワード	soil mechanics / landslide / earthquake / tsunami / disaster management						
【授業の概要・目的】							
The first half of this course introduces students to the processes and mechanism of natural phenomena associated with environmental hazard and disaster. Being able to identify governing factors for the phenomena can help students find innovative solutions to prevent and reduce natural disaster risks. The course covers basic scientific theories and application that can enhance students' ability in modeling and analysis of the governing factors as well as the assessment of potential risk. The second half of this course introduces frameworks for vulnerability assessment which dovetails into geohazard assessment and management practice. This section also covers the important concept of Environmental Impact Assessment as a means for anthropogenic disaster mitigation.							
【到達目標】							
On successful completion of the course, students can be expected (1) to understand basic soil mechanics and hydraulics of groundwater, (2) to integrate these concepts to explain the failure mechanism of geo-disasters like landslides, (3) to analyze specific state-of-the-art disaster mitigation technologies and (4) to perform basic vulnerability, impact and disaster risk assessment.							
【授業計画と内容】							
1. Introduction to geo-disasters in the environment 2. Basic soil mechanics and hydraulics of groundwater (1) 3. Basic soil mechanics and hydraulics of groundwater (2) 4. Basic soil mechanics and hydraulics of groundwater (3) 5. Understanding mechanism of geo-hazard in the environment (1) - landslide, ground subsidence, internal erosion beneath river embankments 6. Understanding mechanism of geo-hazard in the environment (2) - landslide, ground subsidence, internal erosion beneath river embankments 7. Mechanism of earthquake-related geo-hazards - liquefaction, tsunami 8. State-of-the-art disaster mitigation technologies 9. Understanding vulnerability: political, physical, social, economic and environmental factors 10. Student presentation 11. Basic concepts of geo-hazard assessment and management - mitigation, preparedness, response and recovery 12. Environmental Impact Assessment (EIA) for disaster mitigation (1) 13. Environmental Impact Assessment (EIA) for disaster mitigation (2)							
ILAS Seminar-E2 :Geo-Disaster Risk Reduction and Prevention (土砂災害の防災・減災学)(2)へ続く...							

-
- 14. Revision and self-learning week
 - 15. Student presentation
 - 16. Feedback

【履修要件】

Beneficial but not mandatory: basic mathematics and physics (high school level). Students must be willing to work with basic mathematics.

【成績評価の方法・観点】

- Class performance (25%)
- Assignment report (30%)
- Oral presentation (45%)

【教科書】

授業中に指示する

Additional study materials and handouts will be distributed.

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

Students are expected to be independent in finding online resources to attain relevant issues of discussion during seminar to enhance student interaction and understanding during classes. There will be penalty for failure to attend the course (up to three classes) on routine schedule.

【その他（オフィスアワー等）】

After class, student consultation will be arranged with prior notice.

【履修要件】

文系理系を問わず木材に興味のある方。専門知識は必要ではないが、授業中必要になる知識については、授業内で適宜補足する。

課外学習については、京都府教育庁文化財保護課のHP等を参照して、文化財建造物の保存修理について予習しておくこと。

<https://www.kyoto-be.ne.jp/bunkazai/cms/>

【成績評価の方法・観点】

平常点（出席と参加の状況、授業への積極性）、ならびに小レポート2部（見学と実習）により理解度を評価する。評価の重みは5:5とする。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

（関連URL）

<https://www.youtube.com/watch?v=OpGZGvLBHOg>(2021オープンキャンパス 農学部 研究紹介)

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/250016>(木材情報学と教育用材鑑調査室デジタルデータベース)

http://www.kyoto-be.ne.jp/bunkazai/cms/?page_id=55(京都府教育庁文化財保護課 文化財建造物の保存修理について)

【授業外学修（予習・復習）等】

適宜、授業連絡メール、PandA等により指示する。

【その他（オフィスアワー等）】

実験・実習を伴うので学生教育研究災害傷害保険に加入していること。採点報告日（8月中旬）以降の開講となった場合、成績報告が遅れる可能性がある。

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 ＜英訳＞	ILASセミナー：コントラクトブリッジで身に着ける論理的思考力 ILAS Seminar :Learning of logical thinking by contract bridge			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 教授 小杉 賢一郎		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・前期	受講定員 (1回生定員)	25 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	共東12			使用言語	日本語
キーワード	コントラクトブリッジ / 論理的思考力 / 情報処理力 / 確率と統計 / 国際的な社交性						
【授業の概要・目的】							
この授業は、世界で最も知的かつエキサイティングなゲームといわれるコントラクトブリッジ（以下、ブリッジとする）を通じて、論理的思考力を養うことを目的としている。 ブリッジは世界中に約1億人の愛好家がいるカードゲーム（トランプで楽しむゲーム）であり、世界ブリッジ選手権や世界大学生選手権も開催されている。2018年のアジア競技大会では、マインドスポーツのカテゴリーにおいて、チェスや囲碁などと共に正式競技となっている。ブリッジのゲームは、契約（コントラクト）とその履行・妨害によって構成されており、複雑に絡んだ情報を確率的に整理した上で最適解を論理的に導き出す思考力が必要とされる。ブリッジにより培われる論理的思考力は、今後の研究活動に役立ち、ITの基礎となるプログラミングやアルゴリズム開発にも貢献する。また、現代社会の根底にある「契約と履行」の概念を具現化して学ぶこともできる。ブリッジは世界的に広く普及しており、国内でも近年知名度が上がりつつあるため、国内的・国際的な教養・社交性を身に着ける上でも大いに役に立つ（実際に私は、アメリカ留学中にブリッジを通じて多くの研究者と交流することができた）。 現在、東京大学、早稲田大学、大阪大学等でブリッジの授業が実施されている。本授業は、これらの授業を参考にしつつ、毎回の座学と実習を通じてブリッジのゲームを楽しみながら、論理的思考力を自然に身に着けることができる構成となっている。							
【到達目標】							
コントラクトブリッジの基本的な技術を習得し、ゲームを楽しむことができる。 情報処理のスキルを身に着け、論理的思考をすることができる。 教養を身に着け、社会活動の幅を広げることができる。							
【授業計画と内容】							
第1回	ガイダンス，イントロダクション，ブリッジのルール説明						
第2回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：トリックの取り方						
第3回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：切り札なしでのプレイ						
第4回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：切り札ありでのプレイ						
第5回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：フィネス						
第6回	ミニブリッジを実戦形式でやってみる						
第7回	ブリッジで学ぶ論理的思考：ビディングシステムの考え方						
第8回	ブリッジで学ぶ論理的思考：1スーターハンドのビディング						
第9回	ブリッジで学ぶ論理的思考：バランスハンドのビディング						
第10回	ブリッジで学ぶ論理的思考：2スーターハンドのビディング						
第11回	ブリッジで学ぶ論理的思考：オーバーコール						
第12回	ブリッジで学ぶ論理的思考：ディフェンス						
第13回	ブリッジを実戦形式でやってみる						

第14回 ブリッジを通じて社会活動の幅を広げる
第15回 フィードバック（個別の質問等に対応する）

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（授業への参加状況，実習への取り組み状況，小レポート）により評価を行う。
小レポートについては到達目標の達成度に基づき評価する。
4回以上授業を欠席した場合には、不合格とする。

【教科書】

使用しない
自作の資料を用いて授業を行う。

【参考書等】

（参考書）
清水 映樹『ゼロからのコントラクトブリッジ』（星雲社，2013）ISBN:9784434183799（入門書。
復習に役立ちます。）

【授業外学修（予習・復習）等】

予習は特に必要なし。
分かりやすく解説するので、とにかく毎回の出席が重要。
復習をすることで理解が深まり、学習の面白みが増す。

【その他（オフィスアワー等）】

授業に関する学習コミュニティとしてPandAを活用します。
授業中、わからないことについては積極的な質問を期待します。
授業内容に関する質問やリクエストはkosugi.kenichirou.7s@kyoto-u.ac.jp宛にご連絡ください。

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：紙の科学 ILAS Seminar :Paper Science			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 教授 高野 俊幸		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	1 回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 9月20日から22 日の全日3日間	教室	農学部総合館 S-117 (第二学 生実験室) (北部構内)			使用言語	日本語
キーワード	紙 / 紙抄き						
【授業の概要・目的】							
本セミナーでは、身近にある紙について、講義および実習を通して、自然科学の面白さを学ぶことを目的とする。(文系でも十分にわかる内容です)							
【到達目標】							
紙に関する基本的事項を学び、自然科学の視点を養う。							
【授業計画と内容】							
9月20日(水)、21日(木)、22日(金)(全日3日間)の集中講義として、下記の講義・実習を行います。 1日目：紙について知ろう。(講義・実習) 紙の種類・用途、紙の歴史、紙の現状と今後の動向などを解説し、翌日の手抄きの仕込みを行う。 2日目：紙を作ってみよう。(講義・実習) 紙の製法について解説し、実際に紙抄きを行って、手抄きの紙(洋紙)を作成する。また、紙の原理についても解説する。 3日目：紙の性質を調べよう。(講義・実習) 紙の性質について解説し、手抄きした紙(洋紙)の物性を測定する。そして、実際の紙製品について考える。 本セミナーは、農学部・総合館1F 第二学生実験室(S-117)で実施します。							
【履修要件】							
特になし							

ILASセミナー：紙の科学(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー：紙の科学(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点評価（授業への参加状況、ミニ課題など）の成績(80%)と課題レポートの成績(20%)で評価します。

【教科書】

講義・実習に必要なプリントを配布します。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

配布されたプリントをもとに、復習してください。

【その他（オフィスアワー等）】

本セミナーは、通常の前期科目の成績報告締切日以降に実施しますので、成績の報告が遅れますのでご注意ください。

本セミナーでは、実習を行いますので、学生教育研究災害傷害保険に加入しておいて下さい。なお、第2日目には動きやすい服装、靴で来て下さい。

科目ナンバリング		U-LAS70 10002 SE50					
授業科目名 <英訳>	ILAS Seminar-E2 :Global Environmental Issues (地球環境問題) ILAS Seminar-E2 :Global Environmental Issues			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 教授 Daniel Epron		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	1共04			使用言語	英語
キーワード	Climate change / Land degradation / Deforestation / Resource depletion / Biodiversity loss						
【授業の概要・目的】							
Several environmental problems preoccupy peoples around the world. They result from conflicts between natural and human systems, affect our daily life and compromise our future. This seminar will explore how several environmental issues are addressed at the regional, national or international level, and how ecology and environmental science are used as a basis for addressing and tackling these issues.							
【到達目標】							
Upon successful completion of this seminar, students will (i) have a basic scientific understanding of the major environmental issues, and will be able (ii) to critically assess these issues and (iii) to develop decision-making skills for proposing sustainable options for the future.							
【授業計画と内容】							
The course will be based on in-depth analyses of several case studies that will be related to either: - Climate change: vulnerability, adaptation and mitigation - Heat waves and urban heat islands - Air pollution: ozone in the troposphere - Air pollution: input of nitrogen from the atmosphere to the biosphere - Water pollution: eutrophication of aquatic ecosystems and scarcity of fresh water resources - Water pollution: pesticides and endocrine disruptor - Land degradation and restoration - Deforestation - Resource depletion: overfishing and fishing allowance - Habitat fragmentation and endangered species The first class will be an introduction and overview of course content. We will review the major environmental issues through reading a scientific paper. Students will work either alone or in small teams on one of these subjects they will select. They will have to read in depth relevant scientific papers, first provided by the instructor and then found by the students. Students will prepare oral presentations based on the paper 's content to the group at the next class as a starting point for a discussion. For all subjects that will be analyzed simultaneously, the guideline of the course will be (i) problem definition, (ii) quantification of impacts, (iii) vulnerability assessment and (iv) identification of appropriate solutions to solve it. (1) Introduction and selection of case studies [1 week] (2) Problem definition [2-3 weeks] (3) Quantification of impacts [3-4 weeks] (4) Vulnerability assessment[3-4 weeks] (5) Identification of appropriate solutions [3-4 weeks]							
ILAS Seminar-E2 :Global Environmental Issues (地球環境問題)(2)へ続く...							

ILAS Seminar-E2 :Global Environmental Issues (地球環境問題)(2)

(6) Final restitution [1 week]

(7) Feedback [1 week]

Total:14 classes and 1 feedback

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

Grading: Class participation (20%, students are expected to actively participate in discussion), oral presentation (40% during the class hours), written report (40%).

In no case will English language proficiency be a criterion for evaluating students.

Class attendance is expected: students who are absent more than three times without sound reasons (documented unavoidable absence) will not be credited.

【教科書】

No textbooks; reading materials will be distributed before the class (uploaded on Panda).

【参考書等】

(参考書)

Reference books will be suggested to each student according to the subject she/he select and her/him interest

【授業外学修（予習・復習）等】

Students are expected to read the distributed articles, to find additional information and to prepare oral presentations. Works on project outside of class hours is expected (about three hours between two classes).

【その他（オフィスアワー等）】

Students are encouraged to ask questions and to make comments during the class.

Students are welcome to arrange appointments by email, even outside the official office hour, for questions and discussion

11. Food system disruptions

Module 5: Student Presentations (order selected later)

12. Cuisine of Korea

13. Cuisine of Vietnam

14. Cuisine of Malaysia

15. Essay and Feedback Period (details in class)

【履修要件】

English proficiency suitable for understanding lectures, reading basic texts, and participating in class discussion.

【成績評価の方法・観点】

10% Attendance and active participation (Reduced after more than 3 absences without official excuse)

15% Mini-essay assignments

15% In-class discussion and participation in activities

30% Final exam OR essay

30% Final group presentation

【教科書】

使用しない

No textbook, but consultation of in-class materials and eBooks available at Kyoto University Library (see Reference book).

【参考書等】

(参考書)

Van Esterik, Penny 『Food Culture in Southeast Asia』 (Greenwood) ISBN:9780313344190 (eBook available from instructor)

【授業外学修 (予習・復習) 等】

Students will be expected to do short readings in preparation for class and discuss them the following week. Suitable readings for all English levels are available. Alternatively, students will do practical exercises which must be submitted the following week.

【その他 (オフィスアワー等) 】

Short meetings can be spontaneous or scheduled. Longer meetings scheduled only by email.

Concerning field trip participation: students should ensure that they join the necessary insurance, such as Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai - 学研災)

科目ナンバリング		U-LAS70 10002 SE50					
授業科目名 <英訳>	ILAS Seminar-E2 :Food Systems in Asia (アジアにおける食農システム) ILAS Seminar-E2 :Food Systems in Asia			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 准教授 Hart Nadav FEUER		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・後期	受講定員 (1回生定員)	18 (8) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	農学部総合館W302 (北部構内)			使用言語	英語
キーワード	Food / Cuisine / Nutrition						
【授業の概要・目的】							
This interactive seminar is about the contemporary transformation of food, nutrition, and agriculture in East and Southeast Asia. The content of the course will be both familiar and challenging to anyone who has eaten different cuisines in Asia. We will cover the development of local cuisines, the role of farmers, and the evolution of diet in modern society. The perspective will be both practical (How does society gather and eat?) and theoretical (Why food systems developed the way they did). Weekly activities involving food, such as tasting, smelling, cooking, are an important learning tool and a fun part of the seminar.							
【到達目標】							
Students will learn how scientists understand and analyze global food trends from multiple perspectives. Students will also test their skills in an applied way by analyzing specific cuisines in East Asia and providing their own insight and analysis.							
【授業計画と内容】							
Module 1: Cuisines and agri-food systems in different regions 1. Introduction and Staple Foods 2. Rice food systems of East Asia 3. Wheat food systems of East Asia 4. Rice-based vs. Wheat-based Agrifood Systems							
Module 2: Field Trip 5. Field Trip: Kobatake Farm near Sonobe. This event will take place on a weekend day (a Saturday or Sunday between the 4th and 6th class meeting, after consideration of student schedules). It will coincide with rice harvest period, and include some physical work on the farm. Students should be prepared for early departure and early evening return. Make sure to have clothing and shoes that can become dirty. For students who cannot join the field trip, an alternative class activity will be organized. Transportation costs may be free (shared van up to 9 students) or up to 1,180 yen (return train to Sonobe), depending on class size. Students are responsible for their own lunch. Effort will be made to enable participation in case of financial burden.							
6. Field trip followup and Challenges of Traditional Farm Systems							
Module 3: Food systems and cuisine 7. Rural food, urban cuisine, national cuisine 8. Taste, smell, chew: sensory skills of eating							
Module 4: Learning about food 9. Food education and childhood							
ILAS Seminar-E2 :Food Systems in Asia (アジアにおける食農システム)(2)へ続く...							

10. Nutrition of historical food systems
11. Food system disruptions

Module 5: Student Presentations (order selected later)

12. Cuisine of Korea
13. Cuisine of Vietnam
14. Cuisine of Malaysia

15. Essay and Feedback Period (details in class)

【履修要件】

English proficiency suitable for understanding lectures, reading basic texts, and participating in class discussion.

【成績評価の方法・観点】

- 10% Attendance and active participation (Reduced after more than 3 absences without official excuse)
15% Mini-essay assignments
15% In-class discussion and participation in activities
30% Final exam OR essay
30% Final group presentation

【教科書】

使用しない

No textbook, but consultation of in-class materials and eBooks available at Kyoto University Library (see Reference book).

【参考書等】

(参考書)

Van Esterik, Penny 『Food Culture in Southeast Asia』 (Greenwood) ISBN:9780313344190 (eBook available from instructor)

【授業外学修(予習・復習)等】

Students will be expected to do short readings in preparation for class and discuss them the following week. Suitable readings for all English levels are available. Alternatively, students will do practical exercises which must be submitted the following week.

【その他(オフィスアワー等)】

Short meetings can be spontaneous or scheduled. Longer meetings scheduled only by email.

Concerning field trip participation: students should ensure that they join the necessary insurance, such as Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai - 学研災)

ILASセミナー：群集生態学入門(2)

なお、フィールドワークは吉田山で行う。天候不順によりフィールドワークが実施できない場合は、内容を入れ替えて実施する場合がある。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（授業への参加、および、各回の課題提出）60%、最終レポート課題40%で評価を行う

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

門脇浩明・立木佑弥『遺伝子・多様性・循環の科学: 生態学の領域融合へ』（京都大学学術出版, 2019年）ISBN:4814001908

マーク ヴェレンド(著), 松岡 俊将(翻訳), 辰巳 晋一(翻訳), 北川 涼(翻訳), 門脇 浩明(翻訳)『生物群集の理論: 4つのルールで読み解く生物多様性』（共立出版, 2019年）ISBN:4320057880

Gary G. Mittelbach(著), Brian J. McGill(著)『Community Ecology』（Oxford University Press, 2019）ISBN:019883585X

その他の各回の内容に関連する参考書について随時授業中に紹介する予定である。

（関連URL）

<https://www.youtube.com/watch?v=Ou3uBmtrAZA>(講師の自己紹介)

<https://kohmei-kadowaki.jimdosite.com/>(講師の研究紹介ホームページ)

【授業外学修（予習・復習）等】

内容の連結性が高く各回の内容について段階的に習熟する必要があるため、復習をきちんとしてほしい。

【その他（オフィスアワー等）】

質問は、授業中だけでなく、オフィスアワー、およびSlackやメールなどで受け付ける。
フィールドワークを行うため、学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ加入することが必須である。また、フィールドワークの際は汚れても良い服装で参加すること。
PCを用いる実習では、自身のノートPCを持参することが必要である。各自のPCに統計ソフトRをインストールし、ハンズオン形式で実習を行う予定である。
インターネットおよび電子メールを使えることが必須である。

ILASセミナー：研究思考による課題解決(2)

(4) やり抜くための物事の捉え方【2回】

やり抜くコツ、根性・事故効力感・レジリエンス、物事の捉え方、悪習を断つ（やめ抜く）方法

(5) メッセージの伝え方【2回】

聞き手の意識、話の流れの整理法、ビジュアル化、2つの「わかる」、すべてを支える基礎

(6) 聞き方・問い方【2回】

聞き方の重要性、相手の心の聞き出し方、課題を整理する聞き方、相手の行動を変える聞き方

(7) 集団の力を引き出すには【2回】

効果的なチームを形成するには、模範的リーダーシップ5つのポイント、リーダーの各段階とそこに至るプロセス

(8) フィードバック【1回】

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席したうえでのディスカッションへの積極的な参加（65点）およびプレゼン内容（各5点×7回＝35点）により評価する。

【教科書】

教科書は指定しない。

各テーマの初回に配布するプリントを資料として、セミナーを進める。

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

各テーマの講義の際に、参考文献の情報を適宜提供する予定です。

【授業外学修（予習・復習）等】

各テーマの講義前の予習は不要です。各テーマの2回目のディスカッションに向け、設定した課題について発表の準備をしてください。

また、学んだことを身につけるために、自主的な復習を「自学自習」の一環として推奨します。

【その他（オフィスアワー等）】

オフィスアワーは適宜とする（担当教員のスケジュールが流動的なため）

連絡方法は、メールを想定しています。

やる気のある学生を歓迎します。

発表は、PowerPointでも紙媒体でもOKですが、例年PowerPointを使う学生が大半です。

自分の興味があるテーマに対して主体的に取り組むとともに、他の参加者が提示するテーマに対しても積極的にディスカッションする人を歓迎します。

科目ナンバリング		U-LAS70 10003 SB50					
授業科目名 ＜英訳＞	ILASセミナー（海外）：変容する東南アジア - 環境・生業・社会と持続的発展 ILAS Seminar (Overseas) :Changing Southeast Asia - Environment, Livelihood, Society and Sustainable Development			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 教授 樋口 浩和 農学研究科 教授 上高原 浩		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2023・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 9月初旬に2週間 弱の臨地研修	教室	カセサート大学（タイ、バンコク）			使用言語	日本語及び英語
キーワード	東南アジア / タイ / 自然環境 / 農林業 / 文化						
【授業の概要・目的】							
近年、変貌の著しい東南アジアの環境・生業・社会・文化を理解するために、協定大学であるタイ・バンコクのカセサート大学を中心に、9月初旬に2週間弱の臨地研修を行う。							
【到達目標】							
現地研修に参加し、種々の講義を受けることにより、熱帯地域の農業・環境問題を認識し、理解を深める。また、タイの文化に関する講義と、文化施設を訪問することにより、異文化・異文化社会について理解する。英語での講義、英語での成果発表を行うことにより、英語の運用能力を高める。							
【授業計画と内容】							
夏季休暇期間にバンコク、チェンマイおよび周辺地域での臨地研修（9月初旬の2週間弱を予定）と、その前に安全管理に関する講義を含む集中講義を行う。現地では、本学の協定大学であるカセサート大学の講師陣の講義を受け、また、周辺地域では、農地、森林、文化施設等を訪問し、熱帯地域の農業環境問題を中心に、東南アジアについての総合的理解を深める。タイへの渡航費、滞在費は自己負担となる。 (日本国内での講義)							
1．海外渡航時の安全管理、人々との接し方、海外渡航と健康、タイ語の挨拶							
2．海外渡航時の連絡方法の確認							
3．タイの自然・社会・経済環境・文化・歴史の概況							
臨地研修の日程と内容							
1日目：移動（関西空港→バンコク）、カセサート大学でのオリエンテーション							
2日目：講義（カセサート大学の歴史・現況・社会での役割、タイの自然と農業） ：移動（バンコク→チェンマイ）							
3日目：講義（山地部の農業と環境問題）、少数民族（モン）村落での見学、同村長への聞き取り調査、文化施設見学							
4日目：移動（チェンマイ→インタノー国立公園） ：講義（熱帯山地生態系、森林利用、湿地生態系、社会変化と森林資源管理） ：移動（インタノー国立公園→メーチェム）							
5日目：講義（山地低地部及び山斜面の農業と環境問題、山地部の社会変化と農業環境問題）、少数民族（カレン）村落での見学、同村長への聞き取り調査							
6日目：移動（メーチェム→オップルアング国立公園）							
----- ILASセミナー（海外）：変容する東南アジア・環境・生業・社会と持続的発展(2)へ続く -----							

：講義（森林利用、先史遺跡と地質）
 ：移動（オップルアング国立公園→チェンマイ→バンコク）
 7日目：アユタヤ史跡公園での講義（アユタヤ時代の歴史、文化）と史跡公園見学
 8日目：移動（バンコク→サムットプラカン）
 ：講義（塩田による製塩と環境問題、塩生植物の生理学）
 ：移動（サムットプラカン→ダムナーンサドゥアック）
 ：講義（デルタの土地利用、沿岸湿地部の農業技術）、園芸農家見学と聞き取り調査
 ：移動（ダムナーンサドゥアック→カセサート大学カンペンセンキャンパス）
 ：講義（熱帯園芸の発展と課題）、国際野菜センター見学、実験圃場見学
 ：移動（カンペンセン→バンコク）
 9日目：移動（バンコク→チャチェンサオ）
 ：講義（内陸エビ養殖と環境問題）、エビ養殖業者への聞き取り調査
 ：移動（チャチェンサオ→サケラート環境研究所）
 ：講義（熱帯林植生と動物多様性）
 10日目：講義（熱帯林植生と植物多様性）、落葉フタバガキ林と常緑林の見学
 ：移動（サケラート環境研究所→パクチョン）
 11日目：講義（タイの食文化）、パクチョン市場における聞き取り調査
 ：移動（パクチョン→パタナニコム）
 ：講義（タイにおける植林の問題点、平原部の土地利用と環境問題）
 ：移動（パタナニコム→バンコク）
 12日目：成果発表会
 13日目：移動（バンコク→関西空港）
 （コメント）受講者は、4月に行われる説明会に必ず出席すること。説明会の日時・場所は別途
 掲示する。研修旅行ならびに研修前の講義は、夏季休業期間中に行う。伝染病・自然災害・政情な
 ど研修先の事情により臨地研修ができないことがありうる。その場合、国内での集中講義に振り替
 わることがあるが、支払った費用の一部は戻らないことがある。

【履修要件】

旅行費用は自己負担。必要な金額については説明会で周知する。旅行費用のおもなものは、往復
 航空券代と現地宿泊費および食費であるが、航空券代は世界情勢を受けて変動が激しく予測が難し
 いものの宿泊費と食費は国内よりも安価である。本人および保護者が自己責任の原則を了承の上、
 必要な保険等をつけること、海外滞在リスクを十分認識し自らを律することができることも、受講
 の前提となる。また、6月に予定されているタイ側交換留学生受入行事への参加を推奨する場合も
 ある。

安全講習の受講、学研災付帯海外留学保険への加入が確認できない学生は、ILASセミナー（海外）
 に参加することはできない。

【成績評価の方法・観点】

事前講義への出席、研修への参加状況、現地での成果発表会での発表内容及び英語運用能力の向上
 具合、帰国後提出のレポートの内容により評価する。成績評価の詳細は事前講義で説明する。

【教科書】

使用しない
 授業中にプリントを配布する。

【参考書等】

（参考書）
 授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

事前講義の内容を十分に理解、復習し、現地研修での準備を入念に行うこと。

【その他（オフィスアワー等）】

オフィスアワーは設けないが、下記のメールアドレスで、随時質問等を受け付ける。

higuchi.hirokazu.2a@kyoto-u.ac.jp

なお、現地研修は採点報告日（8月中旬）以降に実施するため、成績報告が遅れる場合がある。

本科目は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、不開講となる可能性があります。

臨地研修においては、およそ10日間のプログラムで実施する。

- 1．京都 - 関空 - （パリ経由） - モンペリエ（空路移動）
- 2．研修オリエンテーション、現地研究者・学生による講義、交流会（Montpellier SupAgro）
- 3．ブドウ栽培（INRA）、INRA実証ワイナリーの視察と現地調査
- 4．南仏伝統産地の農産物、食品関連産業の視察と現地調査
- 5．南仏伝統産地の歴史的・文化的景観視察
- 6．ワイン醸造組合の視察と現地調査、Coop de France（フランス農業協同組合連合会）
- 7．報告会準備、予備日
- 8．INRAでの研修報告会（INRAモンペリエにて）
- 9．モンペリエ - （パリ経由） - 関空（翌日着） - 京都

【履修要件】

- 1．海外臨地研修への参加は、ILASセミナー（海外）：「南仏伝統産地の食環境とワイン醸造産業（講義）」の事前座学を必須とする。
- 2．海外渡航に伴うリスクを十分認識し、自らの意思と責任において参加すること。保護者の了承を得ること。
- 3．原則として1回生を対象とするが、他回生の受講も認める。

【成績評価の方法・観点】

事前座学、臨地研修への参加、現地グループ報告会（臨地研修体験を英語もしくはフランス語で発表）と研修レポートにより判定する。なお、配点割合は講義において説明する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

『イギリス王立化学会の化学者が教えるワイン学入門』ディヴィッド・バード著、佐藤圭史ら訳、エクスナレッジ、2019、ISBN-13: 978-4767825397
『新ワイン学』、戸塚昭、東條一元（編集）ガイアブックス、2018、ISBN-13: 978-4866540078
『新しいワインの科学』、ジェイミー・グッド、梶山あゆみ、藤見利孝、河出書房新書、2014、ISBN-13: 978-4309253145
『ワインビジネス—ブドウ畑から食卓までつなぐグローバル戦略』、Thach. L and T. Matz編著 横塚弘毅・小田滋晃・落合孝次・伊庭治彦・香川文庸監訳、昭和堂、2010、ISBN-10: 4812209498、ISBN-13: 978-4812209493

【授業外学修（予習・復習）等】

臨地研修に臨んで次のような課題を各自で事前に調べておくことが望ましい。

- ・オクシタニー州：ラングドック・ルシヨン地域の地理的位置や食文化
- ・ブドウの種類と栽培
- ・ワイン醸造の概略
- ・世界のワイン産業の動向
- ・チーズやパスタの製造と食品加工

【その他（オフィスアワー等）】

- 1．履修者数は臨地研修参加希望者の人数により制限する場合がある。
- 2．履修者の決定方法：4月上旬の当授業の説明会で知らせる。
- 3．海外臨地研修にかかる渡航費、滞在費、研修実費および旅行傷害保険加入等に要する費用を工面できること。研修費用の参加者負担額は最大で概ね45万円程度（予定）を見込む。ただし、為替

レートの変動で変わる場合もあることに留意のこと。

4．学生教育研究傷害保険等に参加すること。

5．Montpellier SupAgro（モンペリエ農業科学高等教育国際センター）から学生グループが交流事業の一環として来日し、交流事業を実施する。当科目の履修者がこの交流事業の一部に参加することを期待する。

セミナーを8月中旬以降に実施となった場合、成績報告が遅れる可能性がある。

本科目は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、不開講となる可能性があります。

令和5（2023）年度 農学部学年暦

前 期		後 期	
令和5年		10月 1日（日）	後期始まり
4月 1日（土）	前期始まり	10月 2日（月）	後期授業開始
4月 3日（月）～ 4月 7日（金）	調整期間Ⅰ	11月22日（水）～ 11月26日（日）	11月祭
4月 7日（金）	入学式	12月26日（火）	金曜日の授業
4月10日（月）	前期授業開始	12月29日（金）～	令和6年 冬季休業
6月18日（日）	創立記念日	1月 3日（水）	
7月18日（火）	休講等による振替授業実施可能日	1月 4日（木）	休講等による振替授業実施可能日
7月21日（金）	前期授業終了	1月19日（金）	農学部休講日※
7月24日（月）～ 8月 4日（金）	前期試験・フィードバック期間	1月23日（火）	金曜日の授業
8月 5日（土）～ 9月30日（土）	夏季休業	1月23日（火）	後期授業終了
		1月24日（水）～ 2月 6日（火）	後期試験・フィードバック期間
		2月 7日（水）～ 3月31日（日）	調整期間Ⅱ
		3月26日（火）	卒業式
		3月31日（日）	学年終わり

※ 1/19（金）は、農学部の専門科目の授業はすべて休講となります。ただし、全学共通科目の授業については、1/12（金）が休講となるため、その振替授業が1/19（金）に実施されます。

- 調整期間Ⅰ：ガイダンス・特別講義等を実施します。
調整期間Ⅱ：特別講義・課題研究発表会等を実施します。
- 6/18（創立記念日）は、京都大学通則で休業日と定められているため、授業休止となります。
- 11月祭期間は授業を休止します。
- その他の休止日等については、KULASIS・掲示等によりお知らせします。

令和5年度 農学部授業日カレンダー

【前期】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

【後期】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■：授業期間 ■：試験・フィードバック期間

■：調整期間

■：休講等による振替授業実施可能日

■：金曜日授業

■：農学部休講日

8. 成績評価における評価基準及び方針について

農学部における入学年度別の成績評価における評価基準及び方針は以下のとおりです。

【令和2年度以降入学】

成績評価			適用基準	
評価	評語	素点		
2段階 評価※	P		合格基準に達している。／Pass	
	F		合格基準に達しておらず、不合格。／Fail	
6段階 評価	A+	96 ～100	合格基準 に達して いる	学修の極めて高い効果が認められ、傑出した成績である。／Outstanding
	A	85～95		学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である。／Excellent
	B	75～84		学修の高い効果が認められ、優れた成績である。／Good
	C	65～74		学修の効果が認められる。／Fair
	D	60～64		最低限の学修の効果が認められる。／Pass
	F	0～59	合格基準 に達して いない	不合格。／Fail

【平成27年度から平成31年度入学】

成績評価				達成度
評価	評語	素点	意味	
2段階 評価※	P		合格	すべての観点または大半の観点において目標を達成している。
	F		不合格	学修の効果が認められず、目標を達成したとは言い難い。
6段階 評価	A+	96 ～100	合格基準 に達して いる	極めて優れている。／Outstanding すべての観点においてきわめて高い水準で目標を達成している。
	A	85～95		特に優れている。／Excellent すべての観点において高い水準で目標を達成している。
	B	75～84		優れている。／Good すべての観点において目標を達成している。
	C	65～74		合格基準に達しており、学修の効果が認められる。／Fair 大半の観点において学修の効果が認められ、目標をある程度達成している。
	D	60～64		合格基準に達しているが、更なる努力が求められる。／Pass 目標をある程度達成しているが、更なる努力が求められる。
	F	0～59	合格基準 に達して いない	不合格。／Fail 学修の効果が認められず、目標を達成したとは言い難い。

【共通】

- ※ ２段階評価は、課題研究、特別森林実習Ⅰ・Ⅱ、特別海洋実習Ⅰ・Ⅱ、農学部共通専門科目「特別実地研修」のみ対象となります。
- ※ 成績は評語で表示します。
- ※ 成績の証明は、合格した科目名及びその評語、単位、取得年度等について記載します。
- ※ 日本学生支援機構及び教育職員免許状等の手続き上必要とする成績の証明は、所定の様式により記載します。

9. 農学部におけるGPA制度並びに履修取消制度について

【GPAについて】

学生の自律的な学修の促進及び学生に対する学修指導等に活用することを目的として、平成28年度以降に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される学部生を対象にGPA (Grade Point Average) 制度を導入します。

(1) 成績評価とGP (Grade Point) の対応

成績評価は下表に基づきGPに変換します。

評語	A+	A	B	C	D	F
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

(2) GPAに算入する科目

1) 農学部におけるGPA算入科目は、6段階評価が付される卒業要件に参入することができる科目(課題研究等の2段階評価の科目は除く)です。その成績にはGPが付与されます。GPAは成績に付与されているGPの総和と当該成績の正規単位の総単位数に基づき算出されます。

2) 同一科目を複数回履修した場合の計算方法については、正規単位のみGPAに算入します。ただし、当該科目に正規単位が存在しない場合(すべて不合格の場合)は、1科目の成績(不合格:GP=0)のみをGPAに算入します。

これに伴い、既に修得した科目を再び履修して合格した場合の正規単位のカウント方法については、農学部専門科目では合格となったすべての科目のうち最もよい成績の科目の単位を、全学共通科目では最初に合格となった科目の単位を正規単位としてカウントすることになります。

(3) GPAの種別は、本学在学中の全期間における学修の成果を示す指標として「累積GPA」を、当該学期における学修成果を示す指標として「学期GPA」を算出します。

GPAは小数点第二位まで表示し、小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入します。

$$\text{累積 GPA} = \frac{(\text{在学全期間においてGPA算入科目のうち履修登録した科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{在学全期間においてGPA算入科目のうち履修登録した科目の総単位数}}$$

$$\text{学期 GPA} = \frac{(\text{当該学期においてGPA算入科目のうち履修登録した科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{当該学期においてGPA算入科目のうち履修登録した科目の総単位数}}$$

(4) GPAの表示

成績表には、不合格となった科目も含めた全ての履修単位に係る成績、「学期GPA」及び「累積GPA」を記載します。

成績証明書には、修得した科目の成績のみを記載し、原則としてGPAは記載しません。ただし、特に必要がある場合に限り、累積GPAならびに在学全期間においてGPA算入科目のうち履修登録した科目の総単位数を記載した成績証明書を学生の学部教務窓口において発行します。(証明書自動発行機では発行されません。)

【履修取消について】

平成28年度以降入学者からGPA制度を導入することに併せて、学生の申請により学期の途中に科目の履修登録を取り消す「履修取消制度」を全学部生対象に導入しています。

(1) 履修取消手続きについて

履修取消手続は、原則として履修取消期間中に、KULASISにおいて履修取消を申請してください。

(2) 履修取消期間

全学統一で下記のとおり履修取消期間を定めます。

令和5年度履修取消期間

前期：令和5年 5月29日（月）～令和5年 5月30日（火）

後期：令和5年11月27日（月）～令和5年11月28日（火）

（科目の特別な事情に応じてこの期間以外に取消を認める場合があります）

(3) 履修取消を認めない科目

講義形式以外の科目で実験・実習・演習・課題研究とします。

(4) 履修取消の特例

病気・事故等により長期間にわたって授業に出席できない等、やむを得ない理由がある場合に限り、履修取消を認める場合があります。

(5) 不受験科目の取扱い

成績判定時点で履修登録されている全ての科目を成績評価の対象とします。

すなわち、受験しなかった試験または提出しなかった課題等に対しては、最低評価を与えたうえで、シラバスに記載された成績評価基準に従って成績評価を行います。

講義名	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	以上修得の割合 A	以上修得の割合 B	以上修得の割合 A	以上修得の割合 B	合格割合のうち不
1044000 応用動物科学技術論と実習I	0	26	0	0	0	1	27	26	100.0%	100.0%	96.3%	96.3%	3.7%
1046000 応用動物科学技術論と実習II	0	15	0	0	0	0	15	15	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3166000 分子生物学実験及び実験法	2	12	13	5	2	0	34	34	41.2%	79.4%	41.2%	79.4%	
5001000 農学概論I	13	138	124	27	2	5	309	304	49.7%	90.5%	48.9%	89.0%	1.6%
5071000 細胞生物学I	8	20	18	16	12	25	99	74	37.8%	62.2%	28.3%	46.5%	25.3%
5073000 細胞生物学II	6	23	26	19	11	20	105	85	34.1%	64.7%	27.6%	52.4%	19.0%
5075000 細胞生物学III	0	14	24	24	15	22	99	77	18.2%	49.4%	14.1%	38.4%	22.2%
5112000 資源生物科学概論A	24	44	16	6	4	10	104	94	72.3%	89.4%	65.4%	80.8%	9.6%
5116000 資源生物科学概論B	8	49	25	6	3	12	103	91	62.6%	90.1%	55.3%	79.6%	11.7%
5121000 生態学	15	29	16	7	1	6	74	68	64.7%	88.2%	59.5%	81.1%	8.1%
5136000 栽培植物起源学	4	8	8	10	0	6	36	30	40.0%	66.7%	33.3%	55.6%	16.7%
5137000 植物生理学II	3	4	3	6	6	5	27	22	31.8%	45.5%	25.9%	37.0%	18.5%
5140000 作物学	2	7	10	7	5	16	47	31	29.0%	61.3%	19.1%	40.4%	34.0%
5142000 育種学	1	4	4	2	4	5	20	15	33.3%	60.0%	25.0%	45.0%	25.0%
5143000 蔬菜園芸学	2	8	5	9	9	11	44	33	30.3%	45.5%	22.7%	34.1%	25.0%
5146000 果樹園芸学	12	12	4	7	3	10	48	38	63.2%	73.7%	50.0%	58.3%	20.8%
5147000 植物生産管理学	0	4	6	2	9	8	29	21	19.0%	47.6%	13.8%	34.5%	27.6%
5150000 栽培システム学	13	9	2	4	0	7	35	28	78.6%	85.7%	62.9%	68.6%	20.0%
5156000 動物生殖生物学	2	10	1	7	1	2	23	21	57.1%	61.9%	52.2%	56.5%	8.7%
5158000 動物栄養科学	3	4	4	1	4	8	24	16	43.8%	68.8%	29.2%	45.8%	33.3%
5160000 動物生体機構学	13	7	5	1	2	4	32	28	71.4%	89.3%	62.5%	78.1%	12.5%
5161000 資源動物生産学	2	30	13	1	1	10	57	47	68.1%	95.7%	56.1%	78.9%	17.5%
5167000 海洋微生物学I	1	9	3	0	0	3	16	13	76.9%	100.0%	62.5%	81.3%	18.8%
5170000 海洋生物資源利用学	1	10	5	4	2	3	25	22	50.0%	72.7%	44.0%	64.0%	12.0%
5174000 雑草学	7	5	9	2	2	7	32	25	48.0%	84.0%	37.5%	65.6%	21.9%
5175000 植物病理学I	2	4	6	5	5	12	34	22	27.3%	54.5%	17.6%	35.3%	35.3%
5177000 昆虫生態学I	14	5	7	4	2	14	46	32	59.4%	81.3%	41.3%	56.5%	30.4%
5179000 昆虫生理学	2	3	2	2	0	21	30	9	55.6%	77.8%	16.7%	23.3%	70.0%
5181000 熱帯農業生態学	3	3	2	4	2	4	18	14	42.9%	57.1%	33.3%	44.4%	22.2%
5184000 真菌科学	3	8	5	7	3	8	34	26	42.3%	61.5%	32.4%	47.1%	23.5%
5218000 海洋環境微生物学	0	3	8	3	0	5	19	14	21.4%	78.6%	15.8%	57.9%	26.3%
5229000 遺伝学II	10	5	3	3	3	9	33	24	62.5%	75.0%	45.5%	54.5%	27.3%
5231000 品質設計開発学	1	5	5	4	4	10	29	19	31.6%	57.9%	20.7%	37.9%	34.5%
5233000 品質評価学	2	4	3	1	4	14	28	14	42.9%	64.3%	21.4%	32.1%	50.0%
5257000 海洋生物科学技術論と実習I	15	0	0	0	0	0	15	15	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
5259000 海洋生物科学技術論と実習II	11	0	0	0	0	1	12	11	100.0%	100.0%	91.7%	91.7%	8.3%
5312000 害虫管理学	6	12	10	1	0	4	33	29	62.1%	96.6%	54.5%	84.8%	12.1%
5314000 植物生産科学技術論と農場実習II	14	11	0	0	0	5	30	25	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%	16.7%
5317000 海洋生物環境学I	3	14	6	4	3	9	39	30	56.7%	76.7%	43.6%	59.0%	23.1%
5321000 海洋生物科学	2	21	19	9	2	11	64	53	43.4%	79.2%	35.9%	65.6%	17.2%
5328000 生物先端科学特別講義	1	28	5	3	0	16	53	37	78.4%	91.9%	54.7%	64.2%	30.2%
5331000 グリーンエネルギーファーム論と実習	10	8	3	0	0	14	35	21	85.7%	100.0%	51.4%	60.0%	40.0%
5342000 応用動物科学特別講義	12	2	0	0	1	14	29	15	93.3%	93.3%	48.3%	48.3%	48.3%
5343000 食卓の栽培学と実習	3	7	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
5347000 海洋生物機能学I	3	9	1	4	0	1	18	17	70.6%	76.5%	66.7%	72.2%	5.6%
5349000 土壌学	20	38	22	9	2	15	106	91	63.7%	87.9%	54.7%	75.5%	14.2%
5355000 海洋生物科学外書講義	11	10	2	0	1	0	24	24	87.5%	95.8%	87.5%	95.8%	
5357000 植物生産科学実験及び実験法I	2	14	8	4	1	2	31	29	55.2%	82.8%	51.6%	77.4%	6.5%
5361000 応用動物科学実験及び実験法I	8	7	3	0	0	0	18	18	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	
5365000 海洋生物科学実験及び実験法I	8	15	1	0	0	0	24	24	95.8%	100.0%	95.8%	100.0%	
5369000 生物先端科学実験及び実験法I	4	8	5	4	0	1	22	21	57.1%	81.0%	54.5%	77.3%	4.5%
5381000 海洋生物科学技術論と実習III	3	0	0	0	0	6	9	3	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%
5383000 海洋生物科学特別講義	0	4	1	0	0	13	18	5	80.0%	100.0%	22.2%	27.8%	72.2%
5385000 応用動物科学外書講義I	5	6	1	5	0	0	17	17	64.7%	70.6%	64.7%	70.6%	
5601000 応用生命科学入門I	4	17	13	7	4	6	51	45	46.7%	75.6%	41.2%	66.7%	11.8%
5603000 応用生命科学入門II	2	19	20	5	0	3	49	46	45.7%	89.1%	42.9%	83.7%	6.1%
5612000 生化学I	1	9	14	12	10	11	57	46	21.7%	52.2%	17.5%	42.1%	19.3%
5619000 生物物理化学II	8	9	11	4	3	2	37	35	48.6%	80.0%	45.9%	75.7%	5.4%
5622000 分析化学	13	12	5	13	4	6	53	47	53.2%	63.8%	47.2%	56.6%	11.3%
5623000 有機反応機構論I	4	11	10	9	10	12	56	44	34.1%	56.8%	26.8%	44.6%	21.4%
5627000 生物有機化学I	1	1	14	27	2	4	49	45	4.4%	35.6%	4.1%	32.7%	8.2%
5633000 一般生体高分子化学	9	14	10	5	2	5	45	40	57.5%	82.5%	51.1%	73.3%	11.1%
5642000 微生物分子遺伝学	0	5	13	6	10	14	48	34	14.7%	52.9%	10.4%	37.5%	29.2%
5647000 植物栄養学	0	15	14	13	7	4	53	49	30.6%	59.2%	28.3%	54.7%	7.5%
5652000 分子生物学I	2	13	14	10	2	7	48	41	36.6%	70.7%	31.3%	60.4%	14.6%
5659000 醸造食品学概論	3	36	8	1	0	6	54	48	81.3%	97.9%	72.2%	87.0%	11.1%
5664000 専門外国書講読(応用生命)	3	11	14	8	3	2	41	39	35.9%	71.8%	34.1%	68.3%	4.9%
5681000 応用生命科学演習I	4	33	3	0	0	3	43	40	92.5%	100.0%	86.0%	93.0%	7.0%
5695000 動物遺伝育種学	3	3	5	5	1	2	19	17	35.3%	64.7%	31.6%	57.9%	10.5%
5697000 植物生産科学	8	17	15	8	6	6	60	54	46.3%	74.1%	41.7%	66.7%	10.0%
5699000 応用動物科学	12	12	8	9	1	7	49	42	57.1%	76.2%	49.0%	65.3%	14.3%
5701000 生物先端科学	8	22	15	11	1	8	65	57	52.6%	78.9%	46.2%	69.2%	12.3%
5709000 海洋資源生物学基礎	2	29	15	5	3	2	56	54	57.4%	85.2%	55.4%	82.1%	3.6%
5715000 魚類学	6	14	2	4	2	5	33	28	71.4%	78.6%	60.6%	66.7%	15.2%

令和5年度前期成績評価分布

講義名	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	以上修得のうちA	以上修得のうちB	以上修得のうちA	以上修得のうちB	以上修得のうちA	以上修得のうちB	合格割合のうち不
5719000 植物生産科学特別講義	2	4	1	1	0	18	26	8	75.0%	87.5%	23.1%	26.9%	69.2%		
5801000 応用生命科学概論	0	16	11	14	7	9	57	48	33.3%	56.3%	28.1%	47.4%	15.8%		
5901000 地域環境工学概論I	14	12	7	4	3	1	41	40	65.0%	82.5%	63.4%	80.5%	2.4%		
5903000 地域環境工学概論II	0	4	17	8	5	6	40	34	11.8%	61.8%	10.0%	52.5%	15.0%		
5909000 応用数学	11	13	17	3	7	8	59	51	47.1%	80.4%	40.7%	69.5%	13.6%		
5915000 測量学	6	16	9	6	1	5	43	38	57.9%	81.6%	51.2%	72.1%	11.6%		
5917000 応用力学	6	15	5	12	9	4	51	47	44.7%	55.3%	41.2%	51.0%	7.8%		
5923000 構造解析学	2	10	10	1	0	5	28	23	52.2%	95.7%	42.9%	78.6%	17.9%		
5928000 環境水文学	6	22	1	3	5	1	38	37	75.7%	78.4%	73.7%	76.3%	2.6%		
5933000 農村計画学	2	11	10	7	7	9	46	37	35.1%	62.2%	28.3%	50.0%	19.6%		
5937000 水資源利用学	0	5	2	8	10	7	32	25	20.0%	28.0%	15.6%	21.9%	21.9%		
5954000 数理計画法	1	17	8	6	2	3	37	34	52.9%	76.5%	48.6%	70.3%	8.1%		
5960000 農産物性科学	1	5	10	4	0	0	20	20	30.0%	80.0%	30.0%	80.0%			
5961000 制御工学	11	8	3	4	2	1	29	28	67.9%	78.6%	65.5%	75.9%	3.4%		
5963000 機械設計	7	14	2	0	0	3	26	23	91.3%	100.0%	80.8%	88.5%	11.5%		
5965000 電気・電子工学	8	12	5	0	2	2	29	27	74.1%	92.6%	69.0%	86.2%	6.9%		
5973000 情報処理学及び演習I	3	28	6	1	1	4	43	39	79.5%	94.9%	72.1%	86.0%	9.3%		
5979000 水理学実験	4	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
5981000 土壌物理学・水環境工学実験	9	6	3	0	0	0	18	18	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%			
5983000 測量法及び実習	16	16	1	1	0	0	34	34	94.1%	97.1%	94.1%	97.1%			
5990000 生物生産工学実験I	0	6	9	4	0	0	19	19	31.6%	78.9%	31.6%	78.9%			
5995000 地域環境工学実習	1	0	0	0	0	4	5	1	100.0%	100.0%	20.0%	20.0%	80.0%		
5997000 灌漑排水学演習	3	3	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
5999000 農村整備計画演習	0	1	2	1	0	3	7	4	25.0%	75.0%	14.3%	42.9%	42.9%		
6008000 技術英語	3	8	6	1	1	1	20	19	57.9%	89.5%	55.0%	85.0%	5.0%		
6013000 農業農村整備政策論	0	14	4	1	0	13	32	19	73.7%	94.7%	43.8%	56.3%	40.6%		
6017000 米のポストハーベスト技術	2	5	3	5	2	6	23	17	41.2%	58.8%	30.4%	43.5%	26.1%		
6151000 調査研究方法実習I	3	26	2	0	0	3	34	31	93.5%	100.0%	85.3%	91.2%	8.8%		
6201000 食料・環境経済学概論	0	4	20	12	1	4	41	37	10.8%	64.9%	9.8%	58.5%	9.8%		
6220000 農業食料組織経営学	1	13	7	8	1	1	31	30	46.7%	70.0%	45.2%	67.7%	3.2%		
6221000 農業経営情報会計学	1	6	7	2	1	21	38	17	41.2%	82.4%	18.4%	36.8%	55.3%		
6223000 資源環境経済学	1	9	11	12	4	14	51	37	27.0%	56.8%	19.6%	41.2%	27.5%		
6225000 食料・環境政策学	6	18	15	8	3	10	60	50	48.0%	78.0%	40.0%	65.0%	16.7%		
6228000 森林政策学	3	13	19	6	0	11	52	41	39.0%	85.4%	30.8%	67.3%	21.2%		
6229000 国際農村発展論	4	11	8	4	1	13	41	28	53.6%	82.1%	36.6%	56.1%	31.7%		
6231000 農業・農村史	0	4	28	0	1	5	38	33	12.1%	97.0%	10.5%	84.2%	13.2%		
6233000 農学原論	1	19	25	10	1	6	62	56	35.7%	80.4%	32.3%	72.6%	9.7%		
6239000 農業資金会計論	8	6	2	3	6	8	33	25	56.0%	64.0%	42.4%	48.5%	24.2%		
6248000 食料・農業経済情報論	1	8	9	0	0	18	36	18	50.0%	100.0%	25.0%	50.0%	50.0%		
6260000 食料・環境経済学特別講義V	0	9	1	0	0	3	13	10	90.0%	100.0%	69.2%	76.9%	23.1%		
6266000 農業食料組織経営学演習II	0	10	1	0	0	0	11	11	90.9%	100.0%	90.9%	100.0%			
6271000 農業経営情報会計学演習II	0	5	1	1	0	0	7	7	71.4%	85.7%	71.4%	85.7%			
6277000 資源環境経済学演習II	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6283000 食料・環境政策学演習II	0	7	0	0	0	0	7	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6290000 森林経済政策学演習II	1	7	0	0	0	0	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6295000 国際農村発展論演習II	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6301000 農業・農村史演習II	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6307000 農学原論演習II	1	9	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6318000 農林経営経済調査実習	0	32	0	0	0	0	32	32	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6325000 経済原論I(応用ミクロ経済学)	0	12	7	3	2	7	31	24	50.0%	79.2%	38.7%	61.3%	22.6%		
6344000 食料・環境経済基礎論	9	14	6	3	2	0	34	34	67.6%	85.3%	67.6%	85.3%			
6352000 応用ミクロ経済学方法論	1	4	3	3	0	2	13	11	45.5%	72.7%	38.5%	61.5%	15.4%		
6356000 統計データ分析	4	9	7	7	4	2	33	31	41.9%	64.5%	39.4%	60.6%	6.1%		
6719000 森林計画学	0	8	9	7	2	12	38	26	30.8%	65.4%	21.1%	44.7%	31.6%		
6722000 造園学	8	17	19	11	3	4	62	58	43.1%	75.9%	40.3%	71.0%	6.5%		
6725000 緑地植物学	3	14	8	0	2	4	31	27	63.0%	92.6%	54.8%	80.6%	12.9%		
6739000 森林生態学	4	12	15	9	6	4	50	46	34.8%	67.4%	32.0%	62.0%	8.0%		
6747000 熱帯林環境学	7	9	5	9	2	3	35	32	50.0%	65.6%	45.7%	60.0%	8.6%		
6752000 樹木細胞生物学	3	9	10	8	6	9	45	36	33.3%	61.1%	26.7%	48.9%	20.0%		
6756000 環境地球科学A(地圏災害学)	4	28	12	7	5	3	59	56	57.1%	78.6%	54.2%	74.6%	5.1%		
6760000 環境地球科学B(森林水文学)	13	20	5	6	2	2	48	46	71.7%	82.6%	68.8%	79.2%	4.2%		
6764000 生物材料物性学II	2	12	6	5	0	1	26	25	56.0%	80.0%	53.8%	76.9%	3.8%		
6769000 木材加工学II	2	10	6	7	0	2	27	25	48.0%	72.0%	44.4%	66.7%	7.4%		
6771000 セルロース化学	1	11	14	7	5	2	40	38	31.6%	68.4%	30.0%	65.0%	5.0%		
6777000 森林生化学II	1	23	13	2	3	1	43	42	57.1%	88.1%	55.8%	86.0%	2.3%		
6797000 緑地計画論	4	11	2	3	0	6	26	20	75.0%	85.0%	57.7%	65.4%	23.1%		
6799000 森林有機化学	8	19	7	8	2	4	48	44	61.4%	77.3%	56.3%	70.8%	8.3%		
6803000 バイオマスエネルギー	4	12	8	1	0	2	27	25	64.0%	96.0%	59.3%	88.9%	7.4%		
6805000 生物圏情報学I	0	20	13	10	1	15	59	44	45.5%	75.0%	33.9%	55.9%	25.4%		
6811000 木質材料学	1	3	5	2	0	1	12	11	36.4%	81.8%	33.3%	75.0%	8.3%		
6824000 森林分子生物学	1	3	2	0	0	0	6	6	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%			
6839000 森林利用学実習及び実習法	1	21	1	0	0	1	24	23	95.7%	100.0%	91.7%	95.8%	4.2%		
6857000 造園学実習II	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
6859000 建築設計・製図実習	16	1	1	0	0	4	22	18	94.4%	100.0%	77.3%	81.8%	18.2%		

令和5年度前期成績評価分布

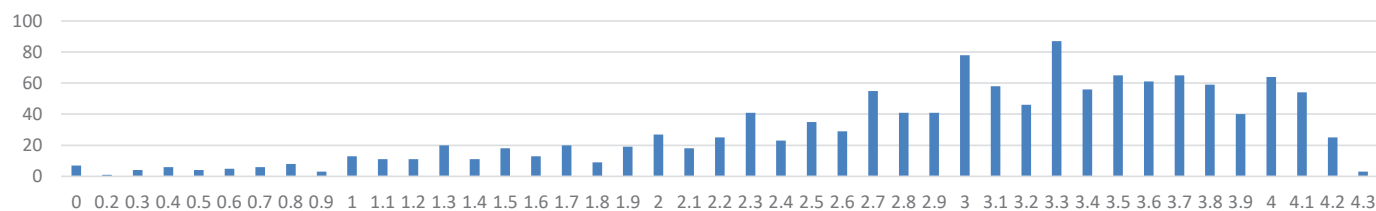
講義名	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	以上修得のうちA	以上修得のうちB	以上履修のうちA	以上履修のうちB	履修のうち合格割合
6872000 研究林実習I	41	3	0	0	0	1	45	44	100.0%	100.0%	97.8%	97.8%	2.2%
6873000 研究林実習II	18	0	0	0	0	1	19	18	100.0%	100.0%	94.7%	94.7%	5.3%
6874000 研究林実習III	0	12	7	0	0	2	21	19	63.2%	100.0%	57.1%	90.5%	9.5%
6882000 森林科学概論A	9	28	10	10	2	3	62	59	62.7%	79.7%	59.7%	75.8%	4.8%
6884000 森林科学概論B	0	10	1	0	0	5	16	11	90.9%	100.0%	62.5%	68.8%	31.3%
6889000 森林基礎科学C	7	15	13	13	4	16	68	52	42.3%	67.3%	32.4%	51.5%	23.5%
6891000 森林基礎科学D	4	47	8	2	0	4	65	61	83.6%	96.7%	78.5%	90.8%	6.2%
6893000 森林基礎科学E	9	26	9	9	4	11	68	57	61.4%	77.2%	51.5%	64.7%	16.2%
6895000 森林基礎科学F	5	24	18	9	4	13	73	60	48.3%	78.3%	39.7%	64.4%	17.8%
6901000 生物多様性保全学	12	8	1	7	2	8	38	30	66.7%	70.0%	52.6%	55.3%	21.1%
6907000 森林基礎科学実習I	9	28	11	6	1	5	60	55	67.3%	87.3%	61.7%	80.0%	8.3%
6913000 森林科学特別科目II	0	9	0	0	0	6	15	9	100.0%	100.0%	60.0%	60.0%	40.0%
6917000 森林科学特別科目IV	2	2	3	1	0	5	13	8	50.0%	87.5%	30.8%	53.8%	38.5%
6923000 森林科学特別科目VII	0	3	8	3	1	3	18	15	20.0%	73.3%	16.7%	61.1%	16.7%
6929000 森林専門外国書講読	7	16	3	0	0	0	26	26	88.5%	100.0%	88.5%	100.0%	
6933000 森林高分子科学II	1	6	17	12	5	2	43	41	17.1%	58.5%	16.3%	55.8%	4.7%
6935000 生態系シミュレーション	0	4	2	0	1	6	13	7	57.1%	85.7%	30.8%	46.2%	46.2%
6937000 森林フィールド系実習及び実習法	2	27	18	7	1	1	56	55	52.7%	85.5%	51.8%	83.9%	1.8%
6939000 森林マテリアル系実験及び実験法	10	19	6	7	1	0	43	43	67.4%	81.4%	67.4%	81.4%	
6947000 森林初修化学	7	3	0	1	0	1	12	11	90.9%	90.9%	83.3%	83.3%	8.3%
6949000 森林初修物理学	7	2	1	0	0	0	10	10	90.0%	100.0%	90.0%	100.0%	
6951000 森林科学のためのPC利用実習	7	13	6	4	1	10	41	31	64.5%	83.9%	48.8%	63.4%	24.4%
6955000 森林土壌学	4	2	0	0	0	4	10	6	100.0%	100.0%	60.0%	60.0%	40.0%
7209000 食品有機化学II	1	6	15	6	6	3	37	34	20.6%	64.7%	18.9%	59.5%	8.1%
7214000 食品基礎分子生物学I	6	10	8	4	5	3	36	33	48.5%	72.7%	44.4%	66.7%	8.3%
7215000 食品生物科学概論	0	4	15	8	3	3	33	30	13.3%	63.3%	12.1%	57.6%	9.1%
7219000 食品物理化学II	6	8	12	4	1	6	37	31	45.2%	83.9%	37.8%	70.3%	16.2%
7226000 食品生理学	5	12	10	8	4	3	42	39	43.6%	69.2%	40.5%	64.3%	7.1%
7230000 天然物化学	2	10	4	3	2	4	25	21	57.1%	76.2%	48.0%	64.0%	16.0%
7234000 食品工学II	4	13	6	6	3	6	38	32	53.1%	71.9%	44.7%	60.5%	15.8%
7240000 微生物遺伝学	5	9	8	4	4	5	35	30	46.7%	73.3%	40.0%	62.9%	14.3%
7244000 食品化学	1	6	10	9	6	14	46	32	21.9%	53.1%	15.2%	37.0%	30.4%
7277000 食品工業論	1	6	10	2	0	11	30	19	36.8%	89.5%	23.3%	56.7%	36.7%
7280000 食品有機化学実験及び実験法	0	14	16	2	3	0	35	35	40.0%	85.7%	40.0%	85.7%	
7290000 栄養生理学実験及び実験法	5	14	8	3	4	0	34	34	55.9%	79.4%	55.9%	79.4%	
7301000 基礎生化学I	9	12	7	3	3	6	40	34	61.8%	82.4%	52.5%	70.0%	15.0%
7305000 食品基礎分子生物学II	5	12	10	3	3	5	38	33	51.5%	81.8%	44.7%	71.1%	13.2%
7325000 食品生化学実験及び実験法	1	14	11	5	2	1	34	33	45.5%	78.8%	44.1%	76.5%	2.9%

186科目

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

農学研究科2023年度GPA

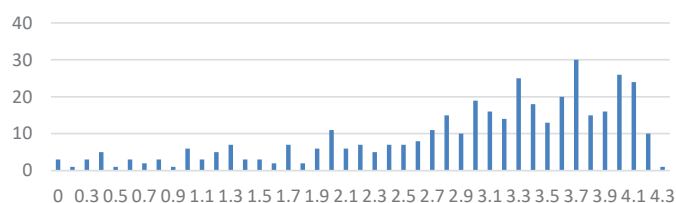


GPA

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

資源生物科学科

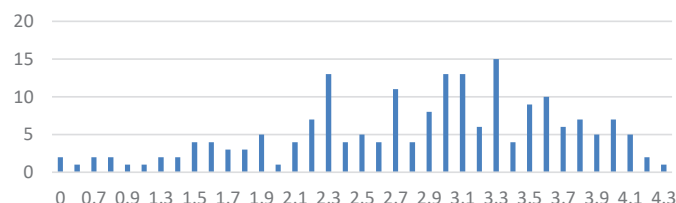


GPA

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

応用生命科学科

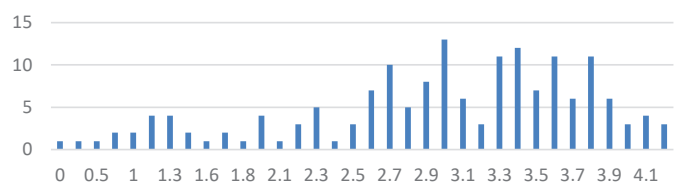


GPA

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

地域環境工学科

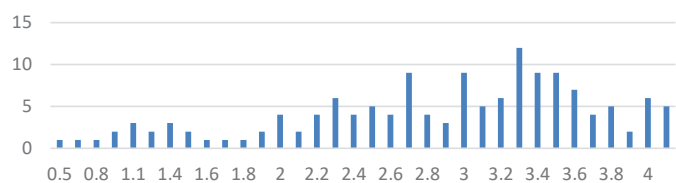


GPA

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

食料・環境経済学科

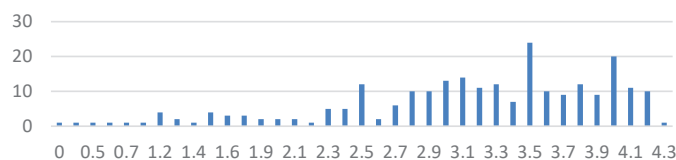


GPA

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

森林科学科



GPA

入学年度	学科名	GPA年度	GPA期間区分名	GPA種別区分名
------	-----	-------	----------	----------

データの個数 / 学生番号

食品生物科学科



GPA

令和5年度後期・通年科目 成績評価分布

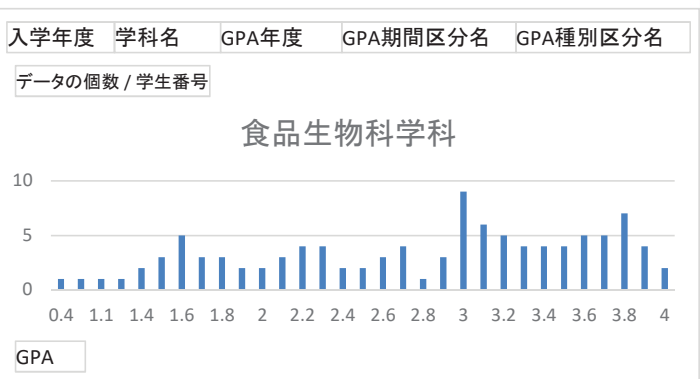
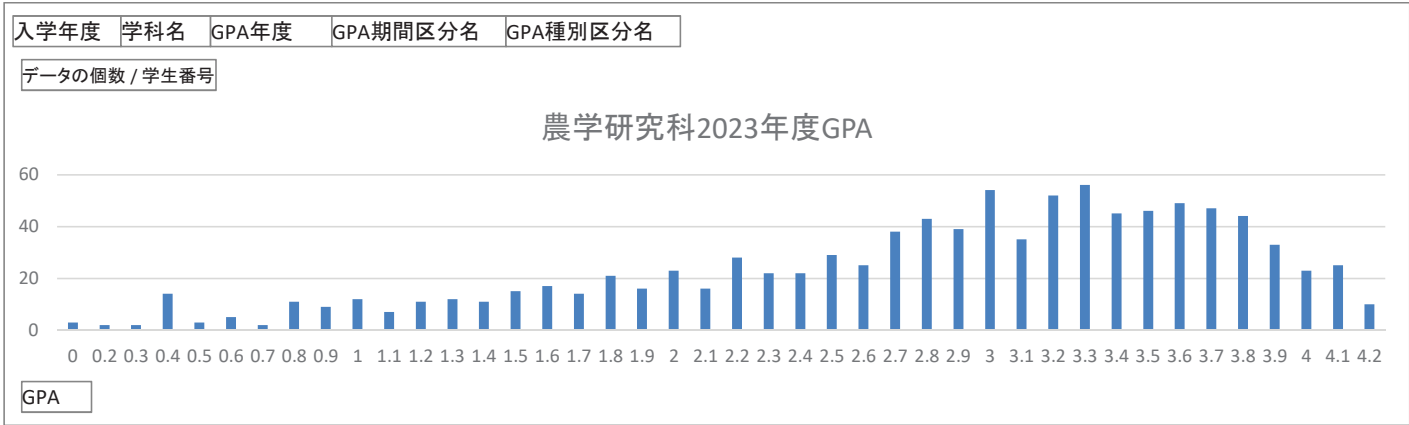
講義名	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	以上修得のうちA	以上修得のうちB	以上修得のうちA	以上修得のうちB	合格割合	履修のうち不
2171000 海洋生物機能学Ⅱ	4	2	3	4	0	1	14	13	46.2%	69.2%	42.9%	64.3%	7.1%	
2455000 生物生産工学演習	0	3	7	1	0	2	13	11	27.3%	90.9%	23.1%	76.9%	15.4%	
3167000 応用微生物学実験及び実験法	3	12	10	6	2	1	34	33	45.5%	75.8%	44.1%	73.5%	2.9%	
5003000 農学概論Ⅱ	1	47	57	28	12	37	182	145	33.1%	72.4%	26.4%	57.7%	20.3%	
5102000 資源生物科学基礎	0	6	25	28	15	17	91	74	8.1%	41.9%	6.6%	34.1%	18.7%	
5106000 大気環境学	22	52	28	17	5	5	129	124	59.7%	82.3%	57.4%	79.1%	3.9%	
5128000 植物生理学Ⅰ	3	20	25	15	7	13	83	70	32.9%	68.6%	27.7%	57.8%	15.7%	
5204000 花卉園芸学	3	8	5	8	2	9	35	26	42.3%	61.5%	31.4%	45.7%	25.7%	
5212000 動物生産管理学	4	3	7	5	1	7	27	20	35.0%	70.0%	25.9%	51.9%	25.9%	
5213000 海洋生物生理学	7	9	5	3	1	9	34	25	64.0%	84.0%	47.1%	61.8%	26.5%	
5215000 海洋微生物学Ⅱ	0	4	7	7	2	5	25	20	20.0%	55.0%	16.0%	44.0%	20.0%	
5223000 昆虫生態学Ⅱ	11	6	6	2	1	16	42	26	65.4%	88.5%	40.5%	54.8%	38.1%	
5227000 生態制御学	0	5	12	12	1	9	39	30	16.7%	56.7%	12.8%	43.6%	23.1%	
5237000 動物栄養機能学	0	2	2	9	3	12	28	16	12.5%	25.0%	7.1%	14.3%	42.9%	
5242000 海洋生物環境学Ⅱ	1	13	9	0	4	9	36	27	51.9%	85.2%	38.9%	63.9%	25.0%	
5247000 植物病理学Ⅱ	0	3	3	2	4	7	19	12	25.0%	50.0%	15.8%	31.6%	36.8%	
5265000 農業科学	0	5	4	5	2	9	25	16	31.3%	56.3%	20.0%	36.0%	36.0%	
5283000 作物科学演習	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5283001 作物科学演習	2	0	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5285000 園芸科学演習	4	2	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5287000 耕地生態科学演習	1	0	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5287001 耕地生態科学演習	4	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5289000 品質科学演習	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5289001 品質科学演習	4	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5293000 応用動物科学演習Ⅰ	10	7	2	0	0	1	20	19	89.5%	100.0%	85.0%	95.0%	5.0%	
5295000 応用動物科学演習Ⅱ	10	7	2	0	0	1	20	19	89.5%	100.0%	85.0%	95.0%	5.0%	
5297000 海洋生物資源学演習	4	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5297001 海洋生物資源学演習	2	0	0	0	1	0	3	3	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%		
5299000 海洋微生物学演習	3	0	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5299001 海洋微生物学演習	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5301000 海洋生物生産学演習	0	1	1	2	0	0	4	4	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%		
5301001 海洋生物生産学演習	1	1	1	0	0	0	3	3	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%		
5303000 資源植物科学演習	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5303002 資源植物科学演習	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5305000 植物保護科学演習	0	2	0	0	0	0	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5305001 植物保護科学演習	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5305002 植物保護科学演習	1	2	0	0	0	0	3	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5307000 生産生態科学演習	0	1	2	0	1	0	4	4	25.0%	75.0%	25.0%	75.0%		
5307001 生産生態科学演習	1	0	0	0	0	0	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5307002 生産生態科学演習	0	3	0	0	0	1	4	3	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	25.0%	
5307003 生産生態科学演習	4	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5315000 海洋生物科学技術論と実習Ⅳ	2	10	1	0	0	0	13	13	92.3%	100.0%	92.3%	100.0%		
5323000 ゲノム情報解析入門	22	29	15	12	3	5	86	81	63.0%	81.5%	59.3%	76.7%	5.8%	
5353000 植物生産科学外書講義	9	5	10	4	1	2	31	29	48.3%	82.8%	45.2%	77.4%	6.5%	
5359000 植物生産科学実験及び実験法Ⅱ	0	5	10	7	4	2	28	26	19.2%	57.7%	17.9%	53.6%	7.1%	
5363000 応用動物科学実験及び実験法Ⅱ	6	3	4	2	1	0	16	16	56.3%	81.3%	56.3%	81.3%		
5367000 海洋生物科学実験及び実験法Ⅱ	4	19	0	0	0	0	23	23	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
5371000 生物先端科学実験及び実験法Ⅱ	3	5	3	3	2	4	20	16	50.0%	68.8%	40.0%	55.0%	20.0%	
5373000 作物・雑草管理の科学	0	5	12	2	3	4	26	22	22.7%	77.3%	19.2%	65.4%	15.4%	
5375000 植物分子育種学	0	7	4	6	1	9	27	18	38.9%	61.1%	25.9%	40.7%	33.3%	
5377000 作物品質科学	5	12	5	0	2	4	28	24	70.8%	91.7%	60.7%	78.6%	14.3%	
5379000 耕地生態学	2	5	3	3	5	6	24	18	38.9%	55.6%	29.2%	41.7%	25.0%	
5387000 応用動物科学外書講義Ⅱ	5	5	1	4	1	1	17	16	62.5%	68.8%	58.8%	64.7%	5.9%	
5389000 動物分子生理学	11	23	10	11	7	12	74	62	54.8%	71.0%	45.9%	59.5%	16.2%	
5605000 応用生命科学入門Ⅲ	4	12	11	10	6	7	50	43	37.2%	62.8%	32.0%	54.0%	14.0%	
5607000 応用生命科学入門Ⅳ	0	18	11	6	10	4	49	45	40.0%	64.4%	36.7%	59.2%	8.2%	
5610000 細胞生物学概論	9	17	16	5	1	4	52	48	54.2%	87.5%	50.0%	80.8%	7.7%	
5614000 生化学Ⅱ	0	6	10	13	14	14	57	43	14.0%	37.2%	10.5%	28.1%	24.6%	
5615000 有機構造解析学	3	9	12	10	2	12	48	36	33.3%	66.7%	25.0%	50.0%	25.0%	
5617000 生物理化学Ⅰ	7	19	12	10	4	5	57	52	50.0%	73.1%	45.6%	66.7%	8.8%	
5625000 有機反応機構論Ⅱ	4	15	9	4	3	14	49	35	54.3%	80.0%	38.8%	57.1%	28.6%	
5631000 生物有機化学Ⅲ	1	9	4	7	11	10	42	32	31.3%	43.8%	23.8%	33.3%	23.8%	
5635000 生体高分子構造論	0	10	8	14	6	4	42	38	26.3%	47.4%	23.8%	42.9%	9.5%	
5640000 微生物学概論	2	22	31	25	12	18	110	92	26.1%	59.8%	21.8%	50.0%	16.4%	
5644000 発酵生理学	0	14	10	7	9	2	42	40	35.0%	60.0%	33.3%	57.1%	4.8%	
5650000 植物生化学Ⅰ	2	5	7	6	15	12	47	35	20.0%	40.0%	14.9%	29.8%	25.5%	
5654000 分子生物学Ⅱ	0	10	16	12	5	5	48	43	23.3%	60.5%	20.8%	54.2%	10.4%	
5656000 分子細胞生物学Ⅰ	4	12	6	9	3	13	47	34	47.1%	64.7%	34.0%	46.8%	27.7%	
5658000 分子細胞生物学Ⅱ	2	14	14	11	4	6	51	45	35.6%	66.7%	31.4%	58.8%	11.8%	
5666000 産業微生物学	0	28	7	0	0	2	37	35	80.0%	100.0%	75.7%	94.6%	5.4%	
5667000 分析化学実験	13	23	7	1	0	0	44	44	81.8%	97.7%	81.8%	97.7%		
5669000 生化学実験	7	23	12	1	0	1	44	43	69.8%	97.7%	68.2%	95.5%	2.3%	
5671000 分子生物学実験	2	8	14	12	6	3	45	42	23.8%	57.1%	22.2%	53.3%	6.7%	
5673000 植物生化学実験	5	26	11	2	1	0	45	45	68.9%	93.3%	68.9%	93.3%		

令和5年度後期・通年科目 成績評価分布

講義名	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	以上修得のうちA	以上修得のうちB	以上修得のうちA	以上修得のうちB	合格割合	履修のうち不
5675000 応用微生物学実験	2	12	11	6	13	1	45	44	31.8%	56.8%	31.1%	55.6%	2.2%	
5677000 有機化学実験	1	10	26	5	0	2	44	42	26.2%	88.1%	25.0%	84.1%	4.5%	
5679000 生物理化学実験	0	29	14	1	0	0	44	44	65.9%	97.7%	65.9%	97.7%		
5683000 応用生命科学演習Ⅱ	2	30	6	1	0	0	39	39	82.1%	97.4%	82.1%	97.4%		
5687000 植物生化学Ⅱ	8	7	5	11	6	8	45	37	40.5%	54.1%	33.3%	44.4%	17.8%	
5691000 生物統計学	5	30	29	11	5	8	88	80	43.8%	80.0%	39.8%	72.7%	9.1%	
5694000 植物生産科学技術論と農場実習Ⅰ(月曜コース)	0	11	20	3	1	0	35	35	31.4%	88.6%	31.4%	88.6%		
5694001 植物生産科学技術論と農場実習Ⅰ(水曜コース)	0	21	6	4	0	4	35	31	67.7%	87.1%	60.0%	77.1%	11.4%	
5703000 稲と麦と大豆の科学	9	10	12	18	12	24	85	61	31.1%	50.8%	22.4%	36.5%	28.2%	
5705000 果樹と野菜と品質の科学	1	7	15	16	9	16	64	48	16.7%	47.9%	12.5%	35.9%	25.0%	
5707000 耕地と環境の科学	13	37	13	10	7	7	87	80	62.5%	78.8%	57.5%	72.4%	8.0%	
5711000 海洋微生物学基礎	6	10	16	10	2	20	64	44	36.4%	72.7%	25.0%	50.0%	31.3%	
5713000 水産食品学基礎	6	18	17	12	5	8	66	58	41.4%	70.7%	36.4%	62.1%	12.1%	
5718000 動物細胞生理学	2	8	11	4	0	13	38	25	40.0%	84.0%	26.3%	55.3%	34.2%	
5721000 動物ゲノム科学	4	3	5	3	4	5	24	19	36.8%	63.2%	29.2%	50.0%	20.8%	
5723000 農業と農学の最前線	0	0	0	0	0	1	1	0					100.0%	
5913000 環境動態学	1	4	8	3	7	7	30	23	21.7%	56.5%	16.7%	43.3%	23.3%	
5920000 土木材料学	1	2	2	6	4	11	26	15	20.0%	33.3%	11.5%	19.2%	42.3%	
5921000 水理学	8	20	6	3	4	4	45	41	68.3%	82.9%	62.2%	75.6%	8.9%	
5926000 土壌物理学	7	12	8	4	2	3	36	33	57.6%	81.8%	52.8%	75.0%	8.3%	
5929000 地域整備開発施設学	2	7	6	6	2	8	31	23	39.1%	65.2%	29.0%	48.4%	25.8%	
5931000 灌漑排水学	8	16	11	9	2	0	46	46	52.2%	76.1%	52.2%	76.1%		
5936000 農地整備学	6	19	16	8	5	9	63	54	46.3%	75.9%	39.7%	65.1%	14.3%	
5939000 利水システム工学	1	6	3	1	0	4	15	11	63.6%	90.9%	46.7%	66.7%	26.7%	
5941000 国土・地域計画	0	1	6	3	2	8	20	12	8.3%	58.3%	5.0%	35.0%	40.0%	
5945000 材料力学	5	11	8	6	9	8	47	39	41.0%	61.5%	34.0%	51.1%	17.0%	
5948000 生物センシング工学	1	5	8	2	3	5	24	19	31.6%	73.7%	25.0%	58.3%	20.8%	
5950000 振動学	5	4	5	7	10	4	35	31	29.0%	45.2%	25.7%	40.0%	11.4%	
5952000 熱力学及び伝熱工学	0	7	8	10	3	5	33	28	25.0%	53.6%	21.2%	45.5%	15.2%	
5956000 農業システム工学	2	15	7	3	4	6	37	31	54.8%	77.4%	45.9%	64.9%	16.2%	
5957000 フィールドロボティクス	0	4	7	6	5	2	24	22	18.2%	50.0%	16.7%	45.8%	8.3%	
5970000 Intro. Bio-Sys. Eng.	2	2	1	2	0	1	8	7	57.1%	71.4%	50.0%	62.5%	12.5%	
5975000 情報処理学及び演習Ⅱ	11	10	2	2	1	3	29	26	80.8%	88.5%	72.4%	79.3%	10.3%	
5977000 土木材料・環境地盤工学実験	9	2	2	0	0	2	15	13	84.6%	100.0%	73.3%	86.7%	13.3%	
5985000 施設機能工学演習	8	6	0	0	1	3	18	15	93.3%	93.3%	77.8%	77.8%	16.7%	
5987000 計算水理学演習	0	4	0	0	0	3	7	4	100.0%	100.0%	57.1%	57.1%	42.9%	
5992000 生物生産工学実験Ⅱ	0	8	3	1	1	1	14	13	61.5%	84.6%	57.1%	78.6%	7.1%	
5993000 製図(CAD)演習	7	8	1	2	0	1	19	18	83.3%	88.9%	78.9%	84.2%	5.3%	
6009000 生物生産機械学	1	8	9	3	4	4	29	25	36.0%	72.0%	31.0%	62.1%	13.8%	
6011000 工業数学	3	8	7	8	1	5	32	27	40.7%	66.7%	34.4%	56.3%	15.6%	
6015000 地域環境工学概論Ⅲ	6	9	10	5	4	2	36	34	44.1%	73.5%	41.7%	69.4%	5.6%	
6153000 調査研究方法実習Ⅱ	3	25	3	0	0	0	31	31	90.3%	100.0%	90.3%	100.0%		
6209000 経済思想史	2	4	10	7	6	5	34	29	20.7%	55.2%	17.6%	47.1%	14.7%	
6211000 社会経済史	0	14	8	8	4	4	38	34	41.2%	64.7%	36.8%	57.9%	10.5%	
6215000 農業発展論	3	6	3	4	3	10	29	19	47.4%	63.2%	31.0%	41.4%	34.5%	
6218000 農業会計学基礎実習	7	6	6	1	1	4	25	21	61.9%	90.5%	52.0%	76.0%	16.0%	
6238000 アグロフードシステム論	0	17	16	1	2	8	44	36	47.2%	91.7%	38.6%	75.0%	18.2%	
6241000 資源環境分析学	0	10	12	9	3	7	41	34	29.4%	64.7%	24.4%	53.7%	17.1%	
6246000 食料経済論	1	8	17	13	3	6	48	42	21.4%	61.9%	18.8%	54.2%	12.5%	
6249000 農村社会学	0	13	21	16	5	5	60	55	23.6%	61.8%	21.7%	56.7%	8.3%	
6264000 農業食料組織経営学演習Ⅰ	0	7	9	0	0	2	18	16	43.8%	100.0%	38.9%	88.9%	11.1%	
6268000 農業食料組織経営学演習Ⅲ	0	6	2	0	0	0	8	8	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%		
6269000 農業経営情報会計学演習Ⅰ	0	4	0	0	0	0	4	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
6273000 農業経営情報会計学演習Ⅲ	2	2	1	0	0	0	5	5	80.0%	100.0%	80.0%	100.0%		
6275000 資源環境経済学演習Ⅰ	0	9	0	0	0	0	9	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
6279000 資源環境経済学演習Ⅲ	0	2	0	0	0	1	3	2	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	
6281000 食料・環境政策学演習Ⅰ	0	7	0	1	0	3	11	8	87.5%	87.5%	63.6%	63.6%	27.3%	
6285000 食料・環境政策学演習Ⅲ	0	3	0	0	0	1	4	3	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	25.0%	
6288000 森林経済政策学演習Ⅰ	0	2	0	0	0	1	3	2	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	
6292000 森林経済政策学演習Ⅲ	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
6293000 国際農村発展論演習Ⅰ	0	7	1	0	0	2	10	8	87.5%	100.0%	70.0%	80.0%	20.0%	
6297000 国際農村発展論演習Ⅲ	0	6	0	0	0	0	6	6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
6299000 農業・農村史演習Ⅰ	0	7	4	1	0	0	12	12	58.3%	91.7%	58.3%	91.7%		
6303000 農業・農村史演習Ⅲ	0	3	1	0	0	1	5	4	75.0%	100.0%	60.0%	80.0%	20.0%	
6305000 農学原論演習Ⅰ	2	20	0	0	0	0	22	22	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
6309000 農学原論演習Ⅲ	0	10	0	0	0	0	10	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
6326000 経済原論Ⅱ(社会経済学)	1	10	5	2	3	12	33	21	52.4%	76.2%	33.3%	48.5%	36.4%	
6329000 経済原論Ⅲ(経済発展論)	0	2	3	0	2	2	9	7	28.6%	71.4%	22.2%	55.6%	22.2%	
6332000 専門外国書講義Ⅲ(英語Ⅱ)	1	15	2	0	1	2	21	19	84.2%	94.7%	76.2%	85.7%	9.5%	
6338000 森林経済学	3	7	4	9	4	9	36	27	37.0%	51.9%	27.8%	38.9%	25.0%	
6340000 食農倫理論	0	16	11	10	1	5	43	38	42.1%	71.1%	37.2%	62.8%	11.6%	
6342000 協同組合論	0	13	12	12	3	13	53	40	32.5%	62.5%	24.5%	47.2%	24.5%	
6346000 経営学基礎	1	16	16	4	0	7	44	37	45.9%	89.2%	38.6%	75.0%	15.9%	
6348000 応用ミクロ経済学入門	0	7	9	3	4	2	25	23	30.4%	69.6%	28.0%	64.0%	8.0%	

令和5年度後期・通年科目 成績評価分布

講義名	A+	A	B	C	D	不合格	履修	修得	以上修得のうちA	以上修得のうちB	以上履修のうちA	以上履修のうちB	合格割合	履修のうち不
6350000 社会経済学入門	1	9	16	11	2	5	44	39	25.6%	66.7%	22.7%	59.1%	11.4%	
6354000 課題研究論文執筆演習	0	30	1	0	0	4	35	31	96.8%	100.0%	85.7%	88.6%	11.4%	
6731000 森林育成学	5	20	21	16	3	10	75	65	38.5%	70.8%	33.3%	61.3%	13.3%	
6738000 森林環境学	2	16	24	16	8	13	79	66	27.3%	63.6%	22.8%	53.2%	16.5%	
6741000 群集生態学	2	7	6	3	4	9	31	22	40.9%	68.2%	29.0%	48.4%	29.0%	
6753000 細胞壁形成論	0	5	15	7	8	8	43	35	14.3%	57.1%	11.6%	46.5%	18.6%	
6766000 木質構造学	0	11	5	3	0	2	21	19	57.9%	84.2%	52.4%	76.2%	9.5%	
6767000 木材加工学I	4	5	10	3	5	17	44	27	33.3%	70.4%	20.5%	43.2%	38.6%	
6774000 リグニン化学	20	20	10	4	4	6	64	58	69.0%	86.2%	62.5%	78.1%	9.4%	
6781000 バイオマス複合材料化学	5	9	8	2	0	0	24	24	58.3%	91.7%	58.3%	91.7%		
6786000 生物材料構造学	0	3	5	4	2	8	22	14	21.4%	57.1%	13.6%	36.4%	36.4%	
6796000 森林法律論	1	22	13	13	10	10	69	59	39.0%	61.0%	33.3%	52.2%	14.5%	
6807000 生物圏情報学II	0	4	11	26	11	37	89	52	7.7%	28.8%	4.5%	16.9%	41.6%	
6809000 木材保存学	0	13	9	4	0	2	28	26	50.0%	84.6%	46.4%	78.6%	7.1%	
6813000 住環境学	0	8	4	7	3	11	33	22	36.4%	54.5%	24.2%	36.4%	33.3%	
6818000 応用生態学実験及び実験法	12	7	3	0	0	1	23	22	86.4%	100.0%	82.6%	95.7%	4.3%	
6842000 基礎生態学実験及び実験法	13	5	1	1	0	0	20	20	90.0%	95.0%	90.0%	95.0%		
6845000 森林水文・砂防学実験及び実験法	2	7	2	1	1	1	14	13	69.2%	84.6%	64.3%	78.6%	7.1%	
6849000 木材加工学実験及び実験法	0	19	0	0	0	2	21	19	100.0%	100.0%	90.5%	90.5%	9.5%	
6855000 造園学実習I	1	5	12	2	0	1	21	20	30.0%	90.0%	28.6%	85.7%	4.8%	
6869000 森林科学演習	10	46	2	0	0	0	58	58	96.6%	100.0%	96.6%	100.0%		
6875000 研究林実習IV	0	12	2	1	0	1	16	15	80.0%	93.3%	75.0%	87.5%	6.3%	
6885000 森林基礎科学A	2	22	14	13	2	10	63	53	45.3%	71.7%	38.1%	60.3%	15.9%	
6887000 森林基礎科学B	0	6	20	18	7	13	64	51	11.8%	51.0%	9.4%	40.6%	20.3%	
6899000 樹木植物概論	2	20	14	8	2	11	57	46	47.8%	78.3%	38.6%	63.2%	19.3%	
6903000 森林動物学	1	9	17	21	2	14	64	50	20.0%	54.0%	15.6%	42.2%	21.9%	
6905000 生物材料物性学I	0	15	17	19	3	8	62	54	27.8%	59.3%	24.2%	51.6%	12.9%	
6909000 森林基礎科学実習II	9	19	17	7	3	7	62	55	50.9%	81.8%	45.2%	72.6%	11.3%	
6925000 森林科学特別科目VIII	0	5	3	1	0	2	11	9	55.6%	88.9%	45.5%	72.7%	18.2%	
6931000 森林高分子科学I	3	6	8	5	5	23	50	27	33.3%	63.0%	18.0%	34.0%	46.0%	
6941000 木材構造学・木材工学実験及び実験法	7	3	4	1	1	0	16	16	62.5%	87.5%	62.5%	87.5%		
6943000 バイオマス化学実験及び実験法	1	5	6	6	2	2	22	20	30.0%	60.0%	27.3%	54.5%	9.1%	
6945000 森林初修生物学	1	16	7	0	0	1	25	24	70.8%	100.0%	68.0%	96.0%	4.0%	
6953000 森林物理化学	3	6	9	4	1	7	30	23	39.1%	78.3%	30.0%	60.0%	23.3%	
6961000 森林経営学	2	24	20	6	5	12	69	57	45.6%	80.7%	37.7%	66.7%	17.4%	
6963000 地域林業調査実習	3	4	0	0	2	4	13	9	77.8%	77.8%	53.8%	53.8%	30.8%	
6965000 森林科学特別科目X	0	14	9	0	0	5	28	23	60.9%	100.0%	50.0%	82.1%	17.9%	
7152000 応用酵素化学	12	18	4	0	1	0	35	35	85.7%	97.1%	85.7%	97.1%		
7207000 食品有機化学I	0	5	10	16	2	6	39	33	15.2%	45.5%	12.8%	38.5%	15.4%	
7211000 食品物理化学I	1	8	6	13	3	8	39	31	29.0%	48.4%	23.1%	38.5%	20.5%	
7218000 食品有機化学III	0	6	11	11	4	4	36	32	18.8%	53.1%	16.7%	47.2%	11.1%	
7227000 酵素化学	2	12	15	4	4	1	38	37	37.8%	78.4%	36.8%	76.3%	2.6%	
7232000 栄養化学	0	13	27	4	0	4	48	44	29.5%	90.9%	27.1%	83.3%	8.3%	
7242000 食品分子生物学II	0	3	1	3	4	4	15	11	27.3%	36.4%	20.0%	26.7%	26.7%	
7243000 微生物生産学	0	3	1	4	3	8	19	11	27.3%	36.4%	15.8%	21.1%	42.1%	
7250000 食品安全学I	3	10	17	12	4	12	58	46	28.3%	65.2%	22.4%	51.7%	20.7%	
7286000 食品生物工学実験及び実験法	10	13	10	1	0	0	34	34	67.6%	97.1%	67.6%	97.1%		
7299000 食品分析化学	4	5	11	9	5	4	38	34	26.5%	58.8%	23.7%	52.6%	10.5%	
7303000 基礎生化学II	1	6	11	8	3	4	33	29	24.1%	62.1%	21.2%	54.5%	12.1%	
7309000 食品分子生物学I	2	6	13	10	3	2	36	34	23.5%	61.8%	22.2%	58.3%	5.6%	
7311000 食品工学I	6	7	9	5	5	5	37	32	40.6%	68.8%	35.1%	59.5%	13.5%	
7315000 有機化学演習	0	5	8	1	2	5	21	16	31.3%	81.3%	23.8%	61.9%	23.8%	
7317000 生化学・微生物学演習	2	6	14	4	3	0	29	29	27.6%	75.9%	27.6%	75.9%		
7319000 物理化学演習	0	5	11	5	0	1	22	21	23.8%	76.2%	22.7%	72.7%	4.5%	
7321000 栄養・食品科学演習	0	14	9	2	0	0	25	25	56.0%	92.0%	56.0%	92.0%		
7323000 食品機能学	6	8	3	2	6	1	26	25	56.0%	68.0%	53.8%	65.4%	3.8%	
7327000 食品基礎統計学	0	9	13	2	3	3	30	27	33.3%	81.5%	30.0%	73.3%	10.0%	



農学部入学定員充足率

認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2(2016～2019年度・2020～2023年度)

<学部>														
学部名	学科名	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	入学定員に対する平均比率	備 考		
農学部	資源生物科学科	志願者数										1.02	学科で区別せず、農学部として募集しているため、志願者数は農学部共通欄に記載している。	
		合格者数	96	96	96	98	96	96	96	95				
		入学者数	96	96	96	98	96	96	96	95				
		入学定員	94	94	94	94	94	94	94	94				
		入学定員充足率	102%	102%	102%	104%	102%	102%	102%	101%				
		在籍学生数	401	395	398	408	399	400	404	400				
		収容定員	376	376	376	376	376	376	376	376				
		収容定員充足率	107%	105%	106%	109%	106%	106%	107%	106%				
	応用生命科学科	志願者数												1.03
		合格者数	52	48	48	49	47	49	49	48				
		入学者数	51	48	46	49	47	49	49	48				
		入学定員	47	47	47	47	47	47	47	47				
		入学定員充足率	109%	102%	98%	104%	100%	104%	104%	102%				
		在籍学生数	212	211	205	199	196	199	200	196				
		収容定員	188	188	188	188	188	188	188	188				
		収容定員充足率	113%	112%	109%	106%	104%	106%	106%	104%				
	地域環境工学科	志願者数												1.06
		合格者数	43	38	40	40	39	39	39	38				
		入学者数	41	38	40	40	39	38	39	38				
		入学定員	37	37	37	37	37	37	37	37				
		入学定員充足率	111%	103%	108%	108%	105%	103%	105%	103%				
		在籍学生数	169	165	165	166	170	169	167	164				
		収容定員	148	148	148	148	148	148	148	148				
		収容定員充足率	114%	111%	111%	112%	115%	114%	113%	111%				
	食料・環境経済学科	志願者数												1.07
		合格者数	35	35	36	34	34	34	34	33				
		入学者数	35	35	35	34	34	34	34	33				
		入学定員	32	32	32	32	32	32	32	32				
		入学定員充足率	109%	109%	109%	106%	106%	106%	106%	103%				
		在籍学生数	161	152	149	149	151	145	148	144				
		収容定員	128	128	128	128	128	128	128	128				
		収容定員充足率	126%	119%	116%	116%	118%	113%	116%	113%				
	森林科学科	志願者数												1.04
		合格者数	60	58	60	59	59	59	59	59				
		入学者数	60	58	60	58	59	59	59	59				
		入学定員	57	57	57	57	57	57	57	57				
		入学定員充足率	105%	102%	105%	102%	104%	104%	104%	104%				
		在籍学生数	243	249	251	240	244	250	246	243				
		収容定員	228	228	228	228	228	228	228	228				
		収容定員充足率	107%	109%	110%	105%	107%	110%	108%	107%				
	食品生物科学科	志願者数												1.04
		合格者数	36	35	35	35	34	34	34	34				
		入学者数	36	34	35	34	34	34	34	33				
		入学定員	33	33	33	33	33	33	33	33				
		入学定員充足率	109%	103%	106%	103%	103%	103%	103%	100%				
		在籍学生数	156	152	147	144	142	143	137	138				
		収容定員	132	132	132	132	132	132	132	132				
		収容定員充足率	118%	115%	111%	109%	108%	108%	104%	105%				
	農学部共通	志願者数	1143	803	845	852	779	715	817	838				
		合格者数												
		入学者数												
		入学定員												
		入学定員充足率												
		在籍学生数												
		収容定員												
		収容定員充足率												
学部合計														
	志願者数		1,143	803	845	852	779	715	817	838				
	合格者数		322	310	315	315	309	311	311	307				
	入学者数		319	309	312	313	309	310	311	306				
	入学定員		300	300	300	300	300	300	300	300	1.04			
	入学定員充足率		106%	103%	104%	104%	103%	103%	104%	102%				
	在籍学生数		1,342	1,324	1,315	1,306	1,302	1,306	1,302	1,285				
	収容定員		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200				
収容定員充足率		112%	110%	110%	109%	109%	109%	109%	107%					

<編入学>

該当なし

アンケート名 令和5年度前期 農学部 学生による授業評価アンケート

部局 農学部

学科名 学科名未設定

開講年度 2023

履修者数 309

回答者数 248

回答率 80.3

結果 (Q.01) 授業の出席状況
 A: 全部出席 (138票/55.6%)
 B: 1 回欠席 (42票/16.9%)
 C: 2 回欠席 (27票/10.9%)
 D: 3 回欠席 (22票/8.9%)
 E: 4 回以上欠席 (19票/7.7%)
 F: 無回答 (0票/0%)



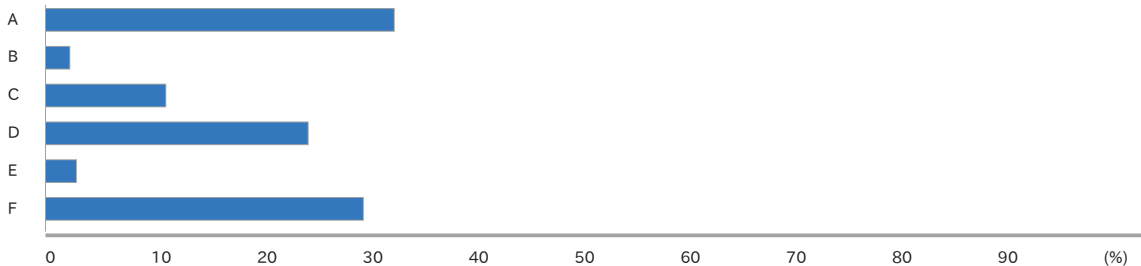
(Q.02) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた1週間あたりの平均値）
 A: 2時間以上 (1票/0.4%)
 B: 1時間以上 (3票/1.2%)
 C: 30分以上 (7票/2.8%)
 D: 30分未満 (101票/40.7%)
 E: 学修していない (136票/54.8%)
 F: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) シラバスを活用（使用）しましたか。
 A: はい (155票/62.5%)
 B: いいえ→Q 1 1へ (93票/37.5%)
 C: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) Q3が「はい」の場合、活用した事柄を以下より選択してください。複数選択可
 A: 科目選択・履修登録 (101票/31.6%)
 B: 予習・復習 (7票/2.2%)
 C: 受講に当たり授業中など (35票/10.9%)
 D: 試験・レポート (76票/23.8%)
 E: その他 (9票/2.8%)
 F: 無回答 (92票/28.8%)

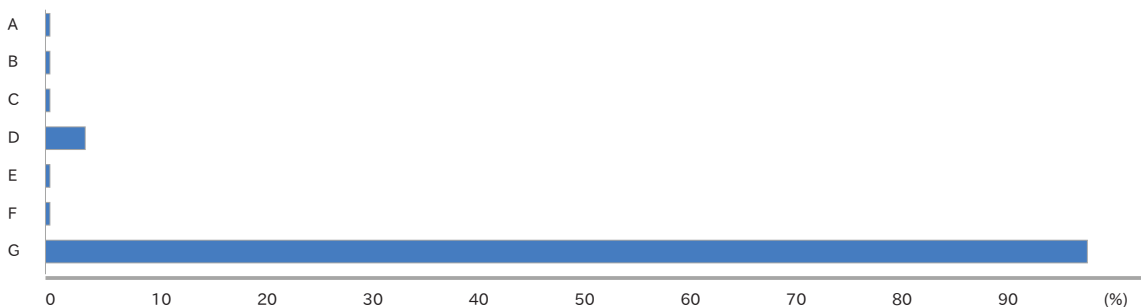


(Q.05) シラバスの情報は十分なものでしたか。
 A: はい (170票/68.5%)
 B: いいえ (8票/3.2%)
 C: 無回答 (70票/28.2%)



(Q.06) Q5が「いいえ」の場合、不十分であった項目を以下より選択してください。複数選択可

- A:「授業の概要・目的」の情報 (1票/0.4%)
B:「授業計画と内容」の情報 (1票/0.4%)
C:「履修要件」の情報 (1票/0.4%)
D:「成績評価の方法・観点」の情報 (9票/3.6%)
E:「教科書」及び「参考書等」の情報 (1票/0.4%)
F:「その他」の情報 (1票/0.4%)
G:無回答 (235票/94.4%)



(Q.07) シラバスに則した講義が行われていましたか。

- A: はい (179票/72.2%)
B: いいえ (1票/0.4%)
C: 無回答 (68票/27.4%)



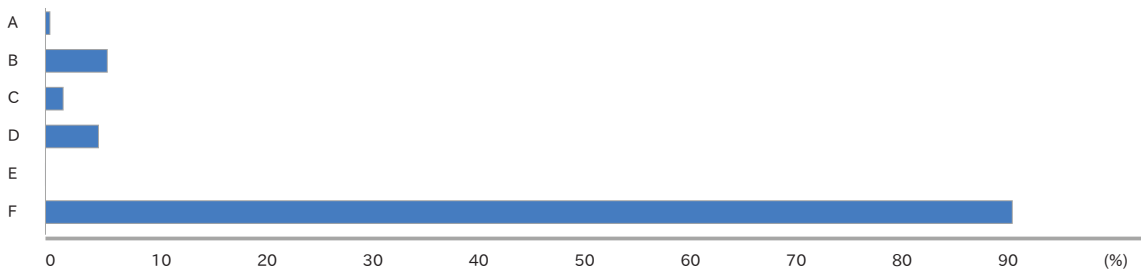
(Q.08) この授業のシラバス記載の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (52票/21%)
B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上～9割未満達成) (96票/38.7%)
C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上～8割未満達成) (21票/8.5%)
D: 達成できなかった (概ね6割未満達成) (2票/0.8%)
E: どちらともいえない (判断できない) (8票/3.2%)
F: 無回答 (69票/27.8%)



(Q.09) Q8で学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」を選択した方は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。複数選択可

- A: 授業の進度が速かったため (1票/0.4%)
B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (14票/5.6%)
C: 説明がわかりにくかったため (4票/1.6%)
D: 特になし (12票/4.8%)
E: その他 (0票/0%)
F: 無回答 (219票/87.6%)



(Q.10) 効果的だった学習活動 (例: 講義、予習・復習又はグループ討論など) があれば、自由に記載してください。

(Q.11) この授業に意欲的に参加した。

- A: そう思う (79票/31.9%)
B: ややそう思う (122票/49.2%)
C: あまりそう思わない (42票/16.9%)
D: そう思わない (4票/1.6%)
E: 無回答 (1票/0.4%)



(Q.12) 疑問点等について教員や友人など対話した。

- A: そう思う (30票/12.1%)
B: ややそう思う (70票/28.2%)
C: あまりそう思わない (94票/37.9%)
D: そう思わない (54票/21.8%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.13) この授業は自分の学習にとって有益であった。

- A: そう思う (97票/39.1%)
B: ややそう思う (128票/51.6%)
C: あまりそう思わない (17票/6.9%)
D: そう思わない (6票/2.4%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.14) この授業はよく準備されており、体系的であった。

- A: そう思う (136票/54.8%)
B: ややそう思う (102票/41.1%)
C: あまりそう思わない (8票/3.2%)
D: そう思わない (2票/0.8%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.15) 教科書やプリント、黒板やプロジェクターを用いた説明の仕方や話し方は適切であった。

- A: そう思う (174票/70.2%)
B: ややそう思う (67票/27%)
C: あまりそう思わない (5票/2%)
D: そう思わない (2票/0.8%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.16) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (3票/1.2%)
B: 選択肢 2 (0票/0%)
C: 選択肢 3 (2票/0.8%)
D: 選択肢 4 (0票/0%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (3票/1.2%)
G: 無回答 (240票/96.8%)



(Q.17) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (2票/0.8%)
B: 選択肢 2 (0票/0%)
C: 選択肢 3 (1票/0.4%)
D: 選択肢 4 (2票/0.8%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (0票/0%)
G: 無回答 (243票/98%)



(Q.18) 自由記述。本科目に関する意見・感想等を記入してください。

アンケート名	令和5年度後期 農学部 学生による授業評価アンケート
部局	農学部
開講年度	2023
対象科目数	207
履修者数	7202
回答者数	1504
回答率	20.9

結果 (Q.01) 授業の出席状況
A: 全部出席 (738票/49.1%)
B: 1 回欠席 (317票/21.1%)
C: 2 回欠席 (219票/14.6%)
D: 3 回欠席 (145票/9.6%)
E: 4 回以上欠席 (85票/5.7%)
F: 無回答 (0票/0%)



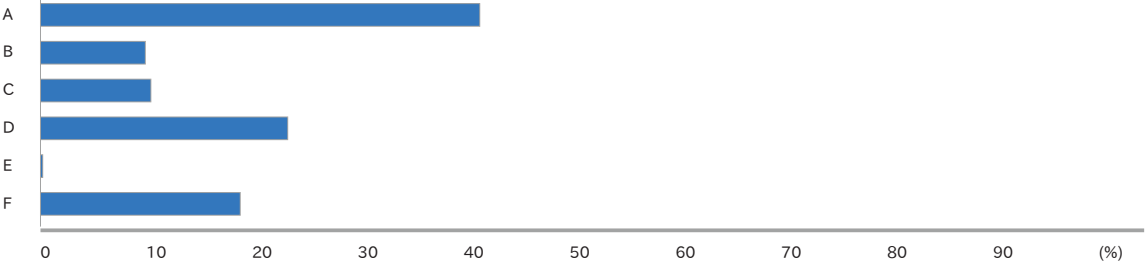
(Q.02) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた1週間あたりの平均値）
A: 2時間以上 (159票/10.6%)
B: 1時間以上 (317票/21.1%)
C: 30分以上 (423票/28.1%)
D: 30分未満 (478票/31.8%)
E: 学修していない (127票/8.4%)
F: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) シラバスを活用（使用）しましたか。
A: はい (1077票/71.6%)
B: いいえ→Q11へ (422票/28.1%)
C: 無回答 (5票/0.3%)



(Q.04) Q3が「はい」の場合、活用した事柄を以下より選択してください。複数選択可
A: 科目選択・履修登録 (942票/39.8%)
B: 予習・復習 (225票/9.5%)
C: 受講に当たり授業中など (237票/10%)
D: 試験・レポート (529票/22.4%)
E: その他 (5票/0.2%)
F: 無回答 (428票/18.1%)

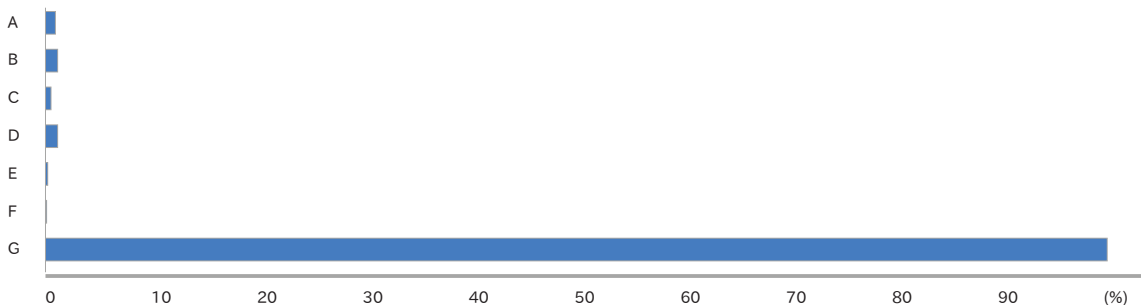


(Q.05) シラバスの情報は十分なものでしたか。
A: はい (1086票/72.2%)
B: いいえ (21票/1.4%)
C: 無回答 (397票/26.4%)



(Q.06) Q5が「いいえ」の場合、不十分であった項目を以下より選択してください。複数選択可

- A:「授業の概要・目的」の情報 (14票/0.9%)
B:「授業計画と内容」の情報 (16票/1.1%)
C:「履修要件」の情報 (7票/0.5%)
D:「成績評価の方法・観点」の情報 (16票/1.1%)
E:「教科書」及び「参考書等」の情報 (3票/0.2%)
F:「その他」の情報 (2票/0.1%)
G:無回答 (1461票/96.2%)



(Q.07) シラバスに則した講義が行われていましたか。

- A: はい (1116票/74.2%)
B: いいえ (14票/0.9%)
C: 無回答 (374票/24.9%)



(Q.08) この授業のシラバス記載の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

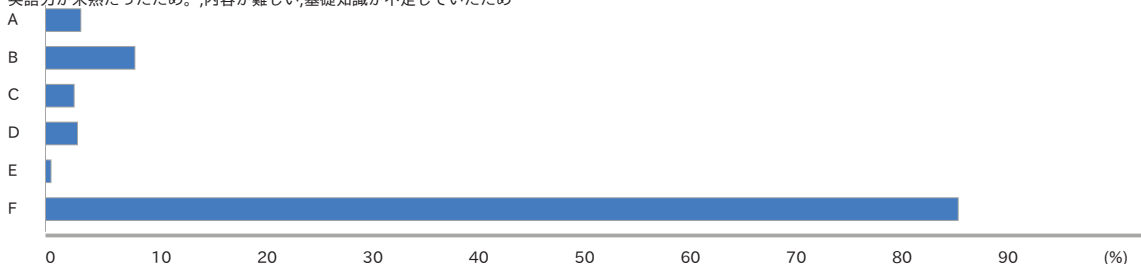
- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (295票/19.6%)
B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上～9割未満達成) (626票/41.6%)
C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上～8割未満達成) (173票/11.5%)
D: 達成できなかった (概ね6割未満達成) (20票/1.3%)
E: どちらともいえない (判断できない) (19票/1.3%)
F: 無回答 (371票/24.7%)



(Q.09) Q8で学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」を選択した方は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。複数選択可

- A: 授業の進度が速かったため (49票/3.2%)
B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (125票/8.1%)
C: 説明がわかりにくかったため (40票/2.6%)
D: 特になし (45票/2.9%)
E: その他 (7票/0.5%)
F: 無回答 (1279票/82.7%)

その他 (記述回答): 私が一限に起きられなかったから。、難しかった、授業にあまり出席できなかったため、自分が起きられず、授業に出るこした回が、自分の英語力が未熟だったため。、内容が難しい、基礎知識が不足していたため



(Q.10) 効果的だった学習活動 (例: 講義、予習・復習又はグループ討論など) があれば、自由に記載してください。

(Q.11) この授業に意欲的に参加した。

- A: そう思う (717票/47.7%)
B: ややそう思う (627票/41.7%)
C: あまりそう思わない (136票/9%)
D: そう思わない (21票/1.4%)
E: 無回答 (2票/0.1%)



(Q.12) 疑問点等について教員や友人など対話した。

- A: そう思う (569票/37.9%)
B: ややそう思う (527票/35.1%)
C: あまりそう思わない (275票/18.3%)
D: そう思わない (130票/8.6%)
E: 無回答 (2票/0.1%)



(Q.13) この授業は自分の学習にとって有益であった。

- A: そう思う (924票/61.5%)
B: ややそう思う (504票/33.5%)
C: あまりそう思わない (56票/3.7%)
D: そう思わない (13票/0.9%)
E: 無回答 (6票/0.4%)



(Q.14) この授業はよく準備されており、体系的であった。

- A: そう思う (980票/65.2%)
B: ややそう思う (457票/30.4%)
C: あまりそう思わない (53票/3.5%)
D: そう思わない (8票/0.5%)
E: 無回答 (5票/0.3%)



(Q.15) 教科書やプリント、黒板やプロジェクターを用いた説明の仕方や話し方は適切であった。

- A: そう思う (952票/63.3%)
B: ややそう思う (460票/30.6%)
C: あまりそう思わない (74票/4.9%)
D: そう思わない (15票/1%)
E: 無回答 (2票/0.1%)



(Q.16) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (22票/1.5%)
B: 選択肢 2 (0票/0%)
C: 選択肢 3 (2票/0.1%)
D: 選択肢 4 (1票/0.1%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (2票/0.1%)
G: 無回答 (1477票/98.2%)



(Q.17) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

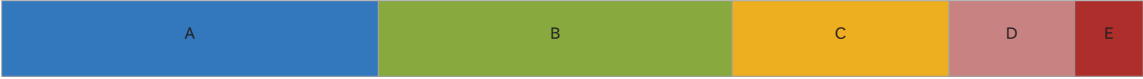
- A: 選択肢 1 (5票/0.3%)
B: 選択肢 2 (0票/0%)
C: 選択肢 3 (2票/0.1%)
D: 選択肢 4 (0票/0%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (0票/0%)
G: 無回答 (1497票/99.5%)



(Q.18) 自由記述。本科目に関する意見・感想等を記入してください。

アンケート名	令和5年度後期 農学部 学生による授業評価アンケート
部局	農学部
学科名	学科名未設定
開講年度	2023
履修者数	423
回答者数	100
回答率	23.6

結果 (Q.01) 授業の出席状況
A: 全部出席 (33票/33%)
B: 1 回欠席 (31票/31%)
C: 2 回欠席 (19票/19%)
D: 3 回欠席 (11票/11%)
E: 4 回以上欠席 (6票/6%)
F: 無回答 (0票/0%)



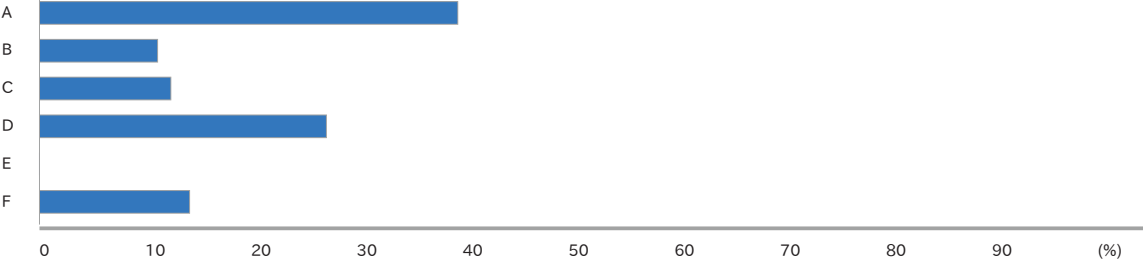
(Q.02) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた1週間あたりの平均値）
A: 2時間以上 (3票/3%)
B: 1時間以上 (27票/27%)
C: 30分以上 (37票/37%)
D: 30分未満 (30票/30%)
E: 学修していない (3票/3%)
F: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) シラバスを活用（使用）しましたか。
A: はい (77票/77%)
B: いいえ→Q11へ (23票/23%)
C: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) Q3が「はい」の場合、活用した事柄を以下より選択してください。複数選択可
A: 科目選択・履修登録 (67票/37.9%)
B: 予習・復習 (19票/10.7%)
C: 受講に当たり授業中など (21票/11.9%)
D: 試験・レポート (46票/26%)
E: その他 (0票/0%)
F: 無回答 (24票/13.6%)

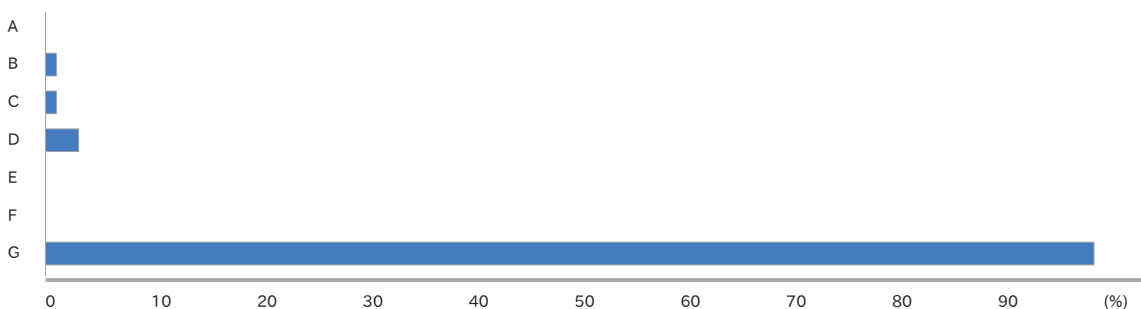


(Q.05) シラバスの情報は十分なものでしたか。
A: はい (76票/76%)
B: いいえ (3票/3%)
C: 無回答 (21票/21%)



(Q.06) Q5が「いいえ」の場合、不十分であった項目を以下より選択してください。複数選択可

- A:「授業の概要・目的」の情報 (0票/0%)
B:「授業計画と内容」の情報 (1票/1%)
C:「履修要件」の情報 (1票/1%)
D:「成績評価の方法・観点」の情報 (3票/3%)
E:「教科書」及び「参考書等」の情報 (0票/0%)
F:「その他」の情報 (0票/0%)
G:無回答 (96票/95%)



(Q.07) シラバスに則した講義が行われていましたか。

- A: はい (77票/77%)
B: いいえ (1票/1%)
C: 無回答 (22票/22%)



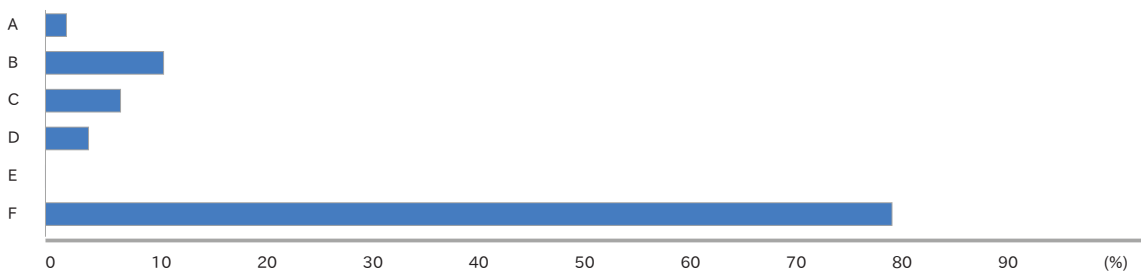
(Q.08) この授業のシラバス記載の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (17票/17%)
B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上～9割未満達成) (39票/39%)
C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上～8割未満達成) (17票/17%)
D: 達成できなかった (概ね6割未満達成) (0票/0%)
E: どちらともいえない (判断できない) (4票/4%)
F: 無回答 (23票/23%)



(Q.09) Q8で学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」を選択した方は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。複数選択可

- A: 授業の進度が速かったため (2票/1.9%)
B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (11票/10.7%)
C: 説明がわかりにくかったため (7票/6.8%)
D: 特になし (4票/3.9%)
E: その他 (0票/0%)
F: 無回答 (79票/76.7%)



(Q.10) 効果的だった学習活動 (例: 講義、予習・復習又はグループ討論など) があれば、自由に記載してください。

(Q.11) この授業に意欲的に参加した。

- A: そう思う (38票/38%)
B: ややそう思う (48票/48%)
C: あまりそう思わない (10票/10%)
D: そう思わない (4票/4%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.12) 疑問点等について教員や友人など対話した。

- A: そう思う (22票/22%)
B: ややそう思う (42票/42%)
C: あまりそう思わない (21票/21%)
D: そう思わない (15票/15%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.13) この授業は自分の学習にとって有益であった。

- A: そう思う (47票/47%)
B: ややそう思う (43票/43%)
C: あまりそう思わない (6票/6%)
D: そう思わない (4票/4%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.14) この授業はよく準備されており、体系的であった。

- A: そう思う (52票/52%)
B: ややそう思う (43票/43%)
C: あまりそう思わない (3票/3%)
D: そう思わない (2票/2%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.15) 教科書やプリント、黒板やプロジェクターを用いた説明の仕方や話し方は適切であった。

- A: そう思う (50票/50%)
B: ややそう思う (40票/40%)
C: あまりそう思わない (9票/9%)
D: そう思わない (1票/1%)
E: 無回答 (0票/0%)



(Q.16) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (2票/2%)
B: 選択肢 2 (0票/0%)
C: 選択肢 3 (0票/0%)
D: 選択肢 4 (0票/0%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (0票/0%)
G: 無回答 (98票/98%)



(Q.17) アンケート実施の際に教員が口頭で指示します。

「指示がない場合」又は、「指示された授業を欠席し、指示内容が不明の場合」は、未回答で結構です。

- A: 選択肢 1 (0票/0%)
B: 選択肢 2 (0票/0%)
C: 選択肢 3 (0票/0%)
D: 選択肢 4 (0票/0%)
E: 選択肢 5 (0票/0%)
F: 選択肢 6 (0票/0%)
G: 無回答 (100票/100%)



(Q.18) 自由記述。本科目に関する意見・感想等を記入してください。

卒業時アンケート(農学部)における到達度の割合

項目 \ 年度	R2	R3	R4	3年間平均
Q1 各学科が設定した農学とそれに関連した領域の学識を身につけ、「生命・食料・環境」に関わる世界水準の自然科学・社会科学研究の内容が理解できる。				
Q1	83.6%	86.1%	86.4%	85.4%
Q2 「生命・食料・環境」に関して人類が直面する課題に対して、統合的・総合的な考えをもって、科学的な解決方法を構想できる。				
Q2	79.3%	80.9%	82.3%	80.9%
Q3 農林水産業および食品・生命科学関連産業の意義と重要性を理解し、高い倫理性と強い責任感を持って、その発展に寄与することを目指した行動ができる。				
Q3	80.9%	80.3%	83.9%	81.7%
Q4 広範囲に及ぶ「生命・食料・環境」に関わる課題に取り組むための幅広い視野を身につけ、異なる文化の人々とも円滑にコミュニケーションができる能力を持つ。				
Q4	71.9%	72.2%	72.6%	72.2%
平均	78.9%	79.9%	81.3%	80.1%

I 京都大学を卒業・修了した学生の印象と以下の能力が備わっているかについて、5段階でお答えください。						
[Q08 総合評価]	③ 普通	④ おおむね良い	⑤ 良い	⑥ おおむね良い+⑤ 良い	総計	
	1	10	10	20	21	
[Q09 一般教養（大卒レベル）]	② やや不十分	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計
	1	1	8	11	19	21
[Q10 専門知識とその活用能力]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	2	8	11	19	21	
[Q11 英語運用能力（文章読解、記述）]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	9	7	5	12	21	
[Q12 英語運用能力（会話）]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	11	6	4	10	21	
[Q13 国際性、異文化理解力]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	7	8	6	14	21	
[Q14 企画力、創造性]	② やや不十分	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計
	1	2	9	9	18	21
[Q15 課題解決力]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	1	8	12	20	21	
[Q16 思考力・判断力]	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計		
	6	15	21	21		
[Q17 協調性、コミュニケーション能力]	① 不十分	② やや不十分	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分
	1	1	2	8	9	17
[Q18 リーダーシップ]	② やや不十分	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計
	2	2	11	6	17	21
[Q19 倫理観]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	3	9	9	18	21	
[Q20 責任感]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	3	7	11	18	21	
[Q21 多角的視点、広い視野]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	3	10	8	18	21	
[Q22 説明力]	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計	
	1	8	12	20	21	
[Q23 実行力]	① 不十分	③ 普通	④ おおむね十分	⑤ 十分	⑥ おおむね十分+⑤ 十分	総計
	1	2	7	11	18	21

1. アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

各学部・研究科等が定める学位授与方針に則した学習成果が得られているかを確認し、本学の教育内容の改善・学習成果の向上を目指すとともにステークホルダーからのニーズと期待を把握するため。

(2) 調査の方法

以下の内容でアンケートを実施した。

① 調査対象

主に本学が主催する企業フォーラムに参加又は登録した民間企業及び過去5年間で本学卒業・修了生5名以上が就職した企業・団体等を対象

※ アンケートで対象とする卒業生は、卒業後概ね5年以内と規定

② 調査方法

ア. 配付・回収：WEBアンケートフォーム又はExcel回答票による入力・回答方式

イ. 回答形式：該当番号選択又は自由記述

③ 実施期間

令和5年7月31日～9月8日

④ 調査内容

I. 京都大学を卒業・修了した学生の印象と備わっている能力

II. 博士学生について

III. 留学生について

IV. 京都大学への要望等

⑤ 回収状況

依頼先：965件

回答数：244件（該当なしと回答があった分は除外）

回答率：25.3%

※ 前回平成29年度は、以下のとおり

過去5年間で1名以上が就職した民間企業

（対象とする卒業生は、卒業後概ね5年以内と規定）

依頼先：2,485件

回答数：447件

回答率：18%

(3) 集計方法等

① 選択式

各設問単位に単純集計を行った。集計結果のうち、個別の割合については少数点第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%に一致しない場合がある。

② 自由記述式

自由記述（意見、その他の内容など）については、一部回答企業が特定される箇所に修正を施しているものの、概ね回答どおりに記載している。

(4) 集計結果の活用

学部・研究科等において、同アンケートの結果を踏まえて学習成果の分析を行うなどにより、効果的な教育プログラムの構築に活用するとともに、関係者のニーズや期待に応えているかの把握に活用する。

さらに、教育研究に係る自己点検・評価や大学機関別認証評価及び第4期中期目標期間評価における教育に係る現況調査表の分析等、今後の大学全体の自己点検・評価にも活用する。

就職先アンケート質問項目

質問番号	質問	回答形式	選択肢				
Q01	企業・団体名	記述回答					
Q02	本アンケート調査にお答えくださる担当者様が所属する「部署名」を記載ください。	記述回答					
Q03	本アンケート調査にお答えくださる担当者様の「名前」を記載ください。	記述回答					
Q04	本アンケート調査にお答えくださる担当者様の「メールアドレス」を記載ください。	記述回答					
Q05	貴社の「従業員規模」をお聞かせください。	択一回答	①～299人	②300～999人	③1,000人～4,999人	④5,000人～	
Q06	2018～2022年度に京都大学を卒業・修了した学生が貴社に在籍しているでしょうか。 （「②在籍していない」をご回答いただいた場合、Q25以降のみご回答ください。）	択一回答	①在籍している	②在籍していない			
Q07	ご回答いただく対象の学生（2018～2022年度に京都大学を卒業・修了）を選択ください。 （②～⑤は、対象の学生別に回答いただく場合にご選択ください。）	選択回答 （複数選択可）	①全学生	②学部学生（文系）	③学部学生（理系）	④大学院生（文系）	⑤大学院生（理系）
	Ⅰ 京都大学を卒業・修了した学生の印象と以下の能力が備わっているかについて、5段階でお答えください。						
Q08	Ⅰ－(1) 総合評価	択一回答	①悪い	②やや悪い	③普通	④おおむね良い	⑤良い
	（以下は、個別の観点からお答えください。）						
Q09	Ⅰ－(2) 一般教養（大卒レベル）	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q10	Ⅰ－(3) 専門知識とその活用能力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q11	Ⅰ－(4) 英語運用能力（文章読解、記述）	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q12	Ⅰ－(5) 英語運用能力（会話）	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q13	Ⅰ－(6) 国際性、異文化理解力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q14	Ⅰ－(7) 企画力、創造性	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q15	Ⅰ－(8) 課題解決力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q16	Ⅰ－(9) 思考力・判断力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q17	Ⅰ－(10) 協調性、コミュニケーション能力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q18	Ⅰ－(11) リーダーシップ	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q19	Ⅰ－(12) 倫理観	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q20	Ⅰ－(13) 責任感	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分

Q21	I－(14) 多角的視点、広い視野	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q22	I－(15) 説明力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q23	I－(16) 実行力	択一回答	①不十分	②やや不十分	③普通	④おおむね十分	⑤十分
Q24	I－(17) 京都大学の卒業生の印象について、普段感じておられることを自由にお書きください。	記述回答					
Q25	II－(1) 貴社の（他大学も含めた）博士学生採用実績についてお聞かせください。	択一回答	①あり	②なし			
Q26	II－(2) 博士学生を採用するとした場合、博士学生のみを求めるスキル、経験などについてお聞かせください。	記述回答					
Q27	II－(3) 博士学生を採用しないとした場合、博士学生を採用されていない理由についてお聞かせください。	記述回答					
Q28	III－(1) 貴社の（他大学も含めた）留学生採用実績についてお聞かせください。	択一回答	①あり	②なし			
Q29	III－(2) 留学生を採用するとした場合、留学生のみを求めるスキル、経験などについてお聞かせください。	記述回答					
Q30	III－(3) 留学生を採用しないとした場合、留学生を採用されていない理由についてお聞かせください。	記述回答					
Q31	IV 京都大学における教育・研究のあるべき姿、今後の方向性など、本学への要望をお聞かせください。	記述回答					